



週刊 YEAR BOOK

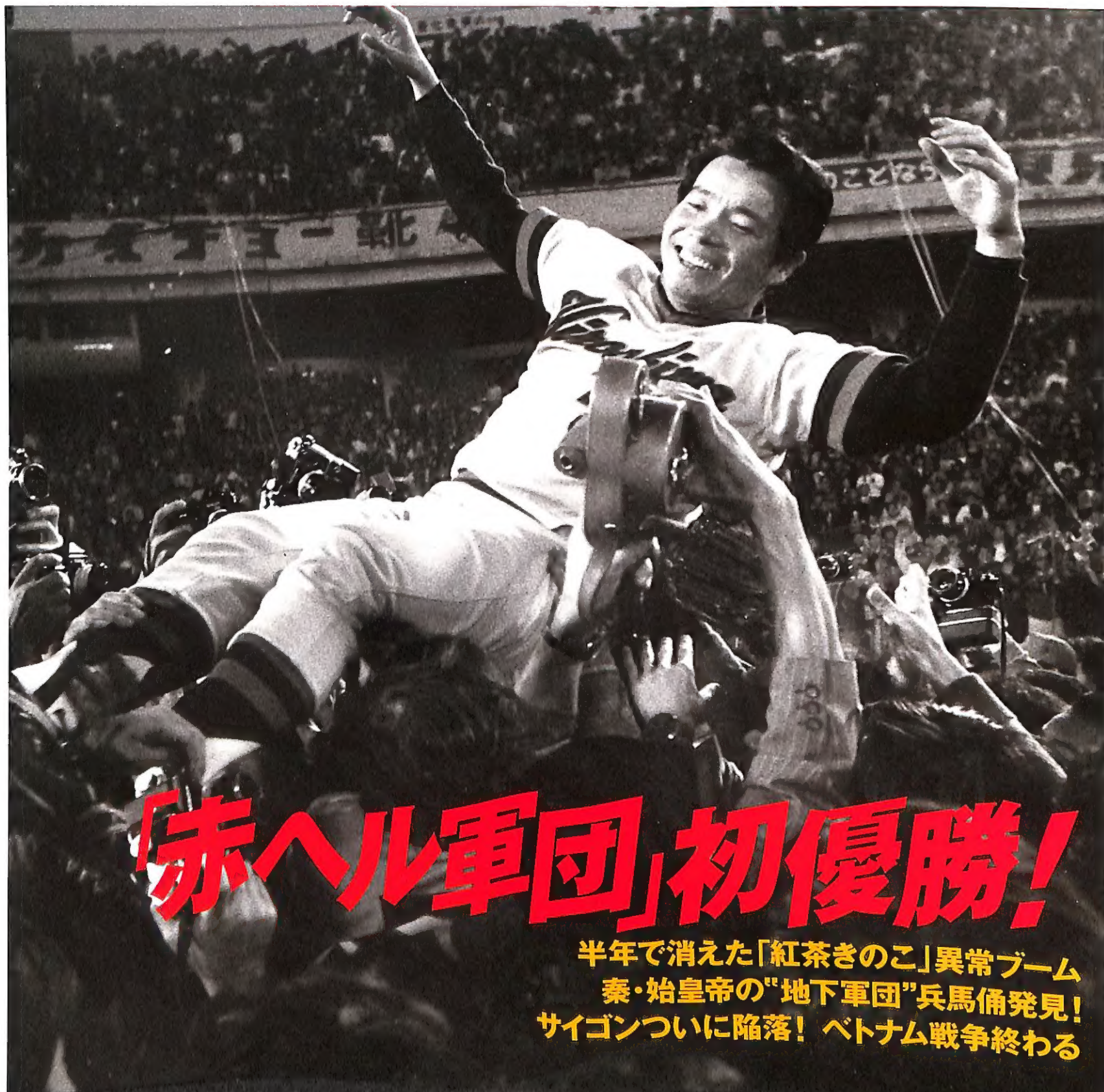
1975  
昭和50年

# 日録20世紀

10/7

平成9年10月7日発行  
(毎週1回発行)第1巻第32号

¥560  
講談社

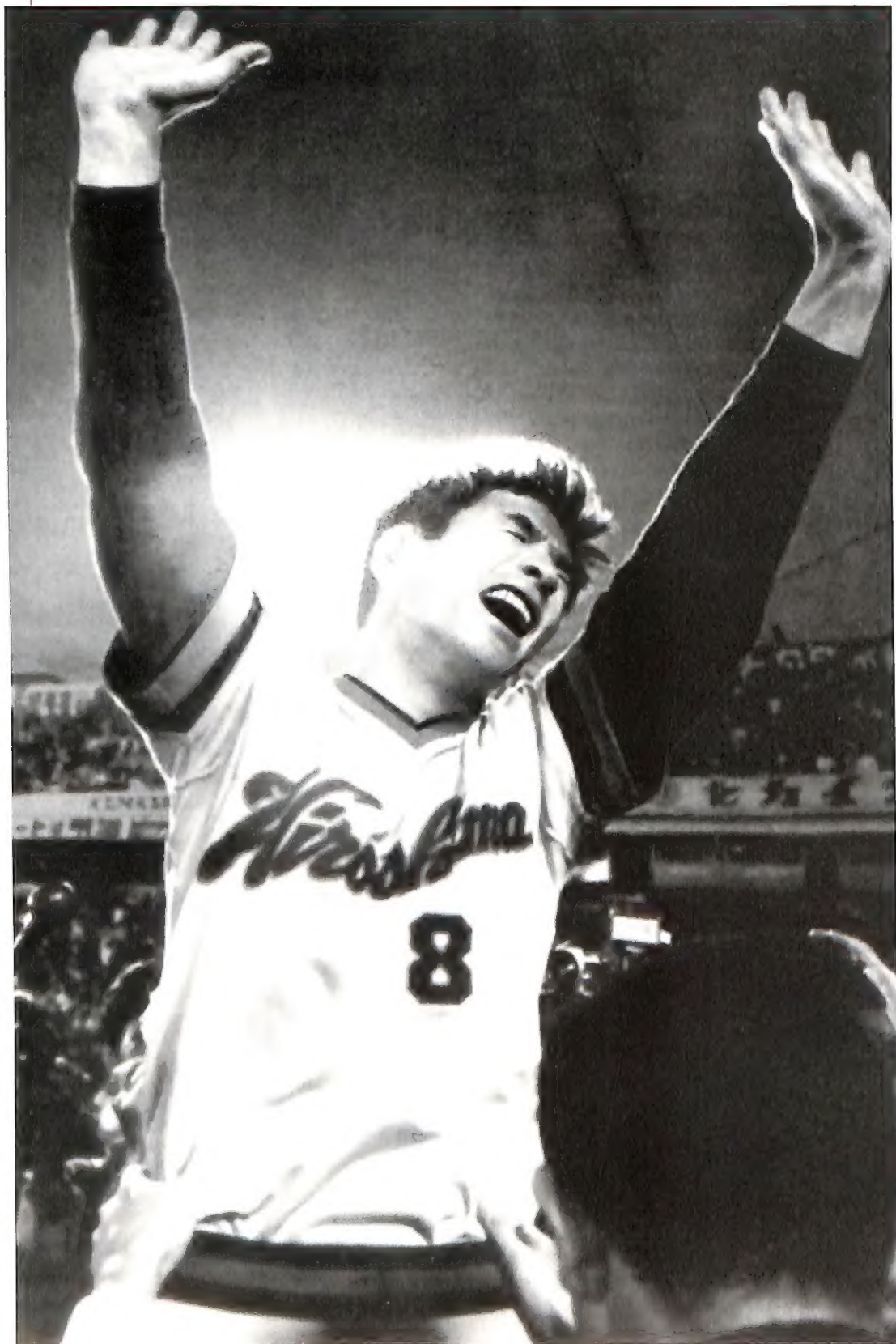


## 「赤ヘル軍団」初優勝!

半年で消えた「紅茶きのこ」異常ブーム  
秦・始皇帝の“地下軍団”兵馬俑発見!  
サイゴンついに陥落! ベトナム戦争終わる



# 広島は復興とともに歩んだ26年 選手もファンもOBも、誰もが泣いた 「赤ヘル軍団」、悲願の初優勝！



◀初優勝の立て役者、山本浩二外野手。マイクを向けられても、感激のあまり言葉も出ない。スタンドのファンに向かって号泣するばかりだった。中国新聞社

## 三〇万人が集った 涙の優勝パレード

「本当にカープは優勝したんですね」  
報道陣に何度も念を押す古葉竹識監督

昭和五〇年一〇月一五日——原爆の爪痕がいまだ残っていた昭和二十四年に誕生した広島カープが、球団設立二六年目にし、ついに悲願の初優勝を上げた。ファンの手で育てられた市民の球団の歴史は、広島復興の歴史でもあった。

(三九)、お立ち台で男泣きする山本浩二外野手(二八)。選手もファンもOBも、誰もが泣いていた。

昭和五〇年一〇月一五日の後楽園球場、巨人—広島戦。今シーズンから帽子の色を赤に変え「赤ヘル軍団」と呼ばれた広島東洋カープは快進撃を続け、優勝まであと一勝に迫っていた。

1—0とカープ一点リードで迎えた九回表二死一、二塁。カープの三番打者ホブキンス(三三)の放った打球は右翼スタンドに突き刺さった。

「夏頃から広島市内のあちこちに応援の垂れ幕が下がり、ファンの期待が痛いほど伝わってきた。プレッシャーで地が足がついていなかったのか、試合内容もほとんどおぼえていないんです」と語る衣笠祥雄は当時一八歳。しかし、今もこのシーンだけは忘れないという。

4—0。がぜん盛り上がるカープ応援団。そして九回裏二死、ジャイアンツ・柴田勲(三二)の打球は、レフト・水谷実雄(二七)のグローブにすっぽりと収まった。午後五時一八分、ゲームセット。



▶10月15日の対巨人最終戦、9回表二死からカープの3番ホブキンスが放った3点本塁打。優勝を決定的にした瞬間だった。中国新聞社  
◎表紙。就任1年目でセリーグを制した古葉竹識監督。夕焼け空の後楽園で、勝利の胸上げに監督の体が何度も宙を舞った。中国新聞社



広島復興とともに歩んだ26年  
選手もファンもOBも、誰もが泣いた  
「赤ヘル軍団」、悲願の初優勝!

## カープ優勝への26年の軌跡

- 昭和  
24年 11月28日、セントラルリーグへの参加承認。  
25年 3月10日、セリーグ開幕。14日、地元第1戦で対国鉄に16-1と快勝。41勝96敗で首位と59ゲーム差の最下位。  
26年 3月14日、役員会で解散決定。石本監督は後援会作りに奔走。6月17日、地元・広島でのダブルヘッダーに初の連勝(対松竹)を祝ってビール、酒が原価で販売される。  
28年 長谷川良平投手が球団初の20勝投手に。  
31年 広島野球倶楽部から広島カープに組織変更。  
32年 7月22日、広島市民球場完工式・ナイター点灯式開催。1万5000人が詰めかける。  
35年 10月5日、最終戦(対大洋)に勝ち、初の勝率5割を確保。  
37年 7月26日、広島で初のオールスター戦開催。森永勝也外野手が首位打者獲得(打率.307)。  
38年 首位・巨人に25ゲーム差の最下位。  
39年 古葉竹識内野手が盗塁王獲得(57個)。  
40年 10月2日、外木場義郎投手がプロ入り初勝利



▲9代目監督ジョー・ルーツ ▲初代監督の石本秀一

- でノーヒット・ノーラン達成(対阪神)。  
42年 12月、チーム名を広島東洋カープに改称。  
43年 68勝62敗で球団初のAクラスを確保。  
45年 8月4日、山内一弘外野手が史上初の4000塁打を達成。  
46年 8月19日、藤本和宏投手がノーヒット・ノーラン(対中日)。最優秀防御率も獲得(1.71)。  
49年 54勝72敗で、3年連続最下位に。10月21日、ルーツ監督就任(日本初の外国人監督)。帽子の色を真っ赤に。  
50年 4月、審判とのトラブルが原因でルーツ監督退任。5月、古葉コーチが監督に。  
7月19日、オールスター戦で山本浩二外野手、衣笠祥雄内野手がそろって2打席連続ホームラン 10月15日、初優勝  
●個人タイトル=山本浩二 MVP、首位打者(.319)、外木場義郎 沢村賞、最多勝(20勝13敗)、大下剛史 盗塁王(44個)

山などの五市、県下の一般企業や個人の出資で設立されたカープは、創立当初から資金難に苦しんでいた。初シーズンの五月には選手の給料遅配が始まり、加盟金・分担金も支払えず、セントラル野球連盟の加盟取り消しも取りざたされた。「みんな、つぎはぎだらけのユニフォームを着ていてねえ。球場だって外野フェンスがなく縄が張ってあるだけ。広島選手が打つと「ホームラン、ホームラン」って縄を前に押し出して、よく怒られていましたよ」と、当時を振り返るのは広島

島出身の作家・佐々木久子氏(六七)だ。こうした窮状を救ったのはファンの力だった。県や市、企業、個人から集まった救援金は二五〇〇万円。最下位ながらも、なんとか一シーズン目を乗り切った。「町内会に奉加帳(ほうかちょう)がまわり、球場前の募金箱代わりの酒樽に、小学生までがお小遣いを寄付した。食べ物など差し入れする人もたくさんいました」(佐々木氏)しかし、あいかわらずの資金難に、二六年には一時、球団解散の危機におちいる。当時の石本秀一監督はチームの指揮

を白石勝巳(かつみ)監督にまかせ、後援会結成と資金集めに奔走した。「カープあやうし」の報にわずかに一日で三〇〇〇人が後援会に参加、この年の支援金は四〇〇万円に達した。四年に経営は東洋工業(現・マツダ)に移行したが、ファンにとってカープは、昔も今も文字どおり「市民の球団」なのである。「たかがプロ野球かもしれないませんが、敗戦後、七五年は草木も生えないと言われていた広島には夢も



朝日新聞



▲優勝が決まった10月15日、深夜の広島市

希望もなかった。そうした状況の中で、ファンはカープを自分の子どものように育ててきました。だからこそ、あれだけ優勝を喜んだのです」(佐々木氏)昭和四三年に一度Aクラス入りした以外は、常にBクラス。四七年から三年連続最下位を続けていた「できの悪い息子」は、ついに栄冠をつかんだ。それはまた、広島の新しい時代の幕開けだった。

流川通り。あちこちで四斗樽が割られて酒がふるまわれ、繰り出した市民たちは26年間待ちこがれた勝利の味に酔いしれた。中国新聞社

球団創立二六年度、「太陽が西から上っても優勝することはない」と揶揄されたチームが、優勝を決めた瞬間だった。マウンド上で抱き合う金城基泰投手(二三)、水沼四郎捕手(二八)のバツテリー。外木場義郎投手(三〇)、大下剛史内野手(三〇)、シェーン外野手(三三)らチームメイトも次々に駆け寄る。「勝ったぞー」。どよめく五万の大観衆。紙吹雪が舞い、およそ五〇〇〇人のファンがグラウンドにだれこんだ。時を同じくして広島県下では、職場やお茶の間、街頭でテレビにかじりついていた人々から「バンザイ」の声が沸き上がった。くす玉が割れ、祝砲の花火や汽笛が轟き、提灯行列が練り歩く広島市。午後七時半から車両通行止めとなった繁華街・流川通りは、誰かれとなく抱き合い握手を求める人々で埋まった。酒場の飲み食いは無料。市内三署には名前を聞いても「カープ」とだけ答えるような酔漢四四人が保護された。平日の夜にもかかわらず、一六日午前三時までに延べ八万五〇〇〇人が繁華街に繰り出し、お祭り騒ぎは早朝まで続いた。二〇日、広島市平和大通りで行われた優勝パレードには、広島市始まって以来の三〇万人が詰めかけ、一週間ほどは、どこへ行ってもカープ優勝の話でもちきりだった。

## 「できの悪い息子がついに栄冠をつかんだ」

広島東洋カープ(設立時・広島野球倶楽部)は、原爆の爪痕もなまましい昭和四四年一月に誕生した。翌年一月には二万人のファンに祝福されて球団結成式が行われたが、広島県と広島市、福



# 「一億総半病人」時代に突如出現！ 愛好者二〇〇万人を生んで半年で消えた 「紅茶きのこ」異常ブームの顛末

茶褐色の液に浮く「紅茶きのこ」が癌や胃弱、水虫からアレルギーまで万病に効くと一大センセーションを巻き起こした。健康不安の時代を背景に、マスメディアがおり立てた一過性の突発的ブームだった。だが、その後もこの種の健康法ブームは今日まで、手を替え品を替え、繰り返されている。

## ブームのきつかけは ワイドショーだった

それはテレビというメディアの持っているすさまじいまでの情報伝播力、まざまざと見せつけた出来事であった。昭和五〇年三月三日放送のTBS系ワイドショー「3時にあいましよう」で紹介されるや、「紅茶きのこ」はたちまちのうちに誰一人知らないものない言葉になったのである。

実は「紅茶きのこ」は、前年十二月に出版された『紅茶キノコ健康法』という単行本によって初めて紹介されたのだった。しかし、目にとまるほどの売れ行きではなかったのである。ところがワイドショーで、高血圧に効果的、子宮癌で今日か明日か、と宣告された患者が半月で旅行に出かけられるほどに回復、美容を述べ立てたのである。作家の丹羽文雄が「便通がよくなり、額がびかびかと光って精気あふれる感じになる」と言えば、女優・山田五十鈴は「悩みの神経性の下痢が止まった。肩こりもとれ、肘や膝の硬くなった皮膚も柔らかくなった」と言い、さらには坂田道太防衛庁長官（後の衆議院議長）までが登場し、「医者に調べてもらったらコレステロールが減ってきている」と「紅茶きのこ」礼賛のオンパレードが続いた。

菌の正体は、結局のところ解明されないままに終わったが、酢酸菌説が有力だった。「効能」はメディアに取り上げられるたびに広がり、冒頭にあげたほか、胃潰瘍、胆石、アレルギー、禿頭症、前立腺肥大、糖尿病、リウマチ、水虫などに著効があると言われた。「紅茶きのこ」は、一部では法外な値段で売買されたケースもあったが、ほとんどが、人から人へただでばらまかれ、またたく間に日本全土を席巻した。一説には、愛好者が二〇〇万人を超えたとされる。

オウム真理教の幹部で平成七年に刺殺



読売新聞社

にもうってつけ、と放送したのをきっかけにいきよに話題の焦点となった。

「希望者には無料で菌をお分けします」と放送したTBSには、一〇万通の応募ハガキが殺到し「担当ディレクターが腰を抜かした」と女性週刊誌が報じた。そして出版元でも、五万通の問い合わせでてんやわんや。

このかっこの話題に週刊誌が飛びつかないわけはなく、芸能誌はもとより、男性誌にいたるまで、手を替え品を替えこの話題を報じた。ある女性誌は、芸能

人の「紅茶きのこ」をめぐる「相関図」まで登場させる始末。ひきも切らない情報の中で、くだんの単行本は増刷に増刷を重ね、この種の本としては異例の四三万部に達したのだった。

「紅茶きのこ」は、紅茶に生菌を加え発酵させたもの。液面に茶褐色のクラゲ状ともきのこ状とも見える菌の塊ができることからこの名で呼ばれた。この培養液をただ飲めばよいという手軽さと経費の安さもブームに拍車をかけた。実際テレビや週刊誌に著名人が多数登場し、効能

▶培養された紅茶きのこ。分析によれば、水分以外の90パーセントは酢酸菌だった。培養後2週間すると、半透明の膜(菌体)ができる。

CHISAN BOOKS

## 紅茶キノコ健康法

中瀬須磨子



▶ベストセラーとなった『紅茶キノコ健康法』(地産出版)。菌体の申込書つきだった。



された村井秀夫は高校時代に「紅茶きのこ」ブームと出くわし、昼休みには図書室で「紅茶きのこ」の研究に没頭していた、という。そしてついに「紅茶きのこ」は国内だけでなく、アメリカ、西ドイツ、カナダ、ブラジルにまで飛び火する国際的ブームに発展したのである。

一方、ブームが過熱するにつれ、「効能」に対する疑問も噴出した。医学的地からは、これほど多方面の効果があるとは考えられない、というオーソドックスな見解をはじめ、雑菌がまじったり、病原菌の温床となる可能性があるなどの意見が相次いだ。こうした中で、ブームは秋口には急速に衰退し、年末恒例の回顧記事には「まだ飲んでいる人がいる」



▲「紅茶きのこ」にあやかって、古来から漢方薬とされたサルノコシカケも脚光を遊び、自宅で栽培する人まで現れた。読売新聞社



▲ブームの仕掛け人と言われた、元読売新聞記者・小川清。共同通信社

というトーンすら登場するのである。

## 現れては消える

### 健康法・健康食品

昭和四〇年代後半から、さまざまな健康法・健康食品が次々と現れ、そして急速にすたれるという繰り返しの現象が起きるようになっていった。その一方で、四九年に「健康」が創刊されたのは、健康専門雑誌が数誌出現している。重化学工業化を軸とした高度成長期以降、無数の有害物質が生活のあらゆる領域に浸透し始めたのと並行して、肉食中心の食生活への変化、さらには「飽食の時代」のはしりが到来して、カロリーの過剰摂取が加わり、成人病が増加し始めていた。「二億総平病人時代」というコピーすら生まれてきた。厚生省の調査によれば、日本人の八割以上が自分の健康に不安を

抱えていると答えるようになったのもこの頃からだ。

「紅茶きのこ」ブームの二年後には「ぶら下がり健康器」とルームランナーの、大健康器具が大流行し、その後、相次いで、月見草オイル、甘茶炭、クロレラ、飲尿、DHA、ノーパーン、酢大豆、野菜スーパなどの民間療法型の健康法が現れては消えていった。

こうした現象を女子栄養大学の村上紀子教授は次のように見る。

「健康のために何かしなければ、と焦るところへ『手軽』で、しかも『ブーム』ですよ」と報道された健康法となると、飛びつく人も多い。効果の真偽はどうあれ、時代の関心事である「健康」にかかわる話題を共有すること自体が面白いのでしょう。今後も『世に健康情報の種は尽きまじ』でしょうね」

## 女たちの肖像

稲葉真弓

# ウーマン・リブのアダ花が 「中ピ連」榎美沙子の闘い

「中」マークを印したピンクのヘルメットに黒覆面のいでたちで、男たちのど肝を抜き、震えあがらせた「中ピ連」(中絶禁止法に反対し、ピル解禁を要求する女性解放連合)が榎美沙子によって設立されたのは昭和四七年六月のことだったが、国際婦人年の五〇年には、会員は二〇〇人を超え、その「軍団」は猛威をふるった。当時、彼女は三〇歳。

まず「中ピ連」で優生保護法改正反対、男女平等を唱え、ピンクヘルメットでデモや集会を開いたほか、四九年夏には「女性を泣き寝入りさせない会」を結成、浮気や離婚の慰謝料問題で女性を泣かせる男性の職場に押しかけたり、ピル(経口避妊薬)の危険性を指摘する東大医学部の講師をやり玉にあげるなど男性論理を片っ端から批判、活動がピークを迎えたこの年、彼女は話題の人として注目をあびた。

榎美沙子はしばしば「中ピ連」をこめて「ウーマン・リブ運動の生んだアダ花」と称されるが、そう言われるにはわけがあった。

五一年「完全なる女性社会」を実現するため「女性復光教」なる宗教団体を創設、みずから女性教の教祖となり五二年参院選をめざし「日本女性党」を結成、一〇人の公認候補にミリタリー・ルックの制服を着せ全員に複姓を名乗らせるなど劇画的活動を見せたが、選挙では全候補が落選。敗退した七月、突然「中ピ連」「日本女性党」を



▲「ピンクヘル」姿で、マスコミをにぎわした。

解散し、「愛する夫のため尽くします」と宣言して家庭にひきこもってしまった。

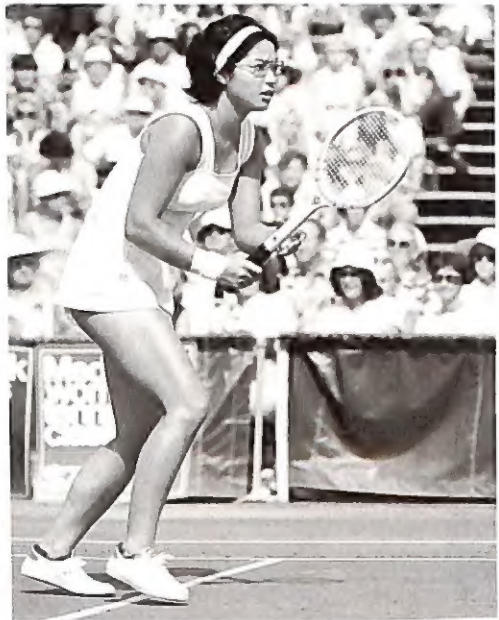
その打ち上げ花火のような行動が「アダ花」と称される所以だが、彼女が躍起になってめざした「ピル解禁」は、二〇年近くを経た平成九年六月、ようやく容認に向けて動き始めた。

昭和二一年一月、徳島県名西郡に生まれた彼女は、少女時代から政治経済の本を読む才媛として知られていたが、京都大学薬学部を卒業後、高校の先輩である医師と結婚した。この頃、ピルの存在を知り、みずから実験台にしてテストを開始、四七年妊娠中絶を規制する優生保護法改正案が出された時、「中絶の権利」を掲げて俄然立ち上がったのだが、参院選を含む運動が失敗に終わった後、理解者であった夫との関係も破綻。離婚後は一時女子大生相手の塾、翻訳業をなりわいに行っていることが報じられたが、マスコミの第一線からは姿を消したままである。

## 勝者・敗者

阿部珠樹

# 日本人女性初の快挙！ ウィンブルドン・テニス 沢松和子「無心」の優勝



▲この年の世界ランキング8位のトップ・プロだった。

昭和五〇年七月五日、ロンドン近郊ウィンブルドンのセンターコートには、二人の東洋人が立っていた。全英選手権女子ダブルス決勝。ペアを組む東洋人は、日本の沢松和子(二四)と日系三世アメリカ人のアン・清村(一九)である。日本人がウィンブルドンの決勝に進んだのは昭和九年、混合ダブルスの三木竜喜以来のことだった。

アン・清村は日系だが、日本語は話せない。だが、すでに六回の大会でペアを組んだことのある二人のコンビネーションは抜群だった。

沢松は、一七三センチの長身を生かし、安定したストロークを繰り出す。一五五センチと小柄な清村は、機敏に動いてネットをとり、ボレーを決める。対戦相手は、男勝りのサーブと力強いショットを武器にするフラン

スのデュールとオランダのストープのペア。力と技のぶつかり合いである。

試合は第一セットから接戦となるが、沢松・清村のペアは、七―五でしぶとくものにす。第二セットは一方的に押し込まれて失うが、第三セットに入ると、沢松ペアに第一セットの粘りが蘇ってきた。取ったり取られたりの展開のすえ、第一ゲーム。最後は清村

のショットが相手コートに突きささった。八七回を数えるウィンブルドンの長い歴史の中で、初めて日本人女性が頂点に立った瞬間である。

沢松は、姉の順子とともにテニスの英才教育を受け、早くからその才能を注目されていたが、この大会の前は、壁に突きあたった形で伸び悩んでいた。しかし、苦手のバックハンドを徹底して練習することで、きっかけをつかみ、初の快挙につなげたのである。

清村と二人で優勝カップを掲げ、歓呼にこたえた沢松は、「優勝できるなんて夢のよう。無心にやったのがよかったんでしょ」と謙虚に語った。そのコメントは淡いピンクのリボンをつけた女学生風のたたずまいにふさわしい、控え目なものだった



# 1975

## フォト+日録で再現する365日

プロ野球の広島カープが悲願の初優勝をとげたこの年、日本の高度成長は終わりを告げる。戦後最大規模の倒産が起こり、赤字国債の発行が決まり、翌年の就職難が喧伝された。そして、三〇年におよんだベトナム戦争も終結し、第一回サミットがパリ郊外で開かれた。

◀ジーンズ姿の闊歩(9月)従来の夫婦とは異なる友人のような関係の若い夫婦がふえ「ニューファミリー」と呼ばれた。おもに昭和47年頃から結婚適齢期を迎えた団塊の世代で、ジーンズ姿は彼らの象徴だった。

毎日新聞刊



日録 20世紀1975

1月

▼岸恵子、離婚(1月20日)映画出演のため帰国し、フランスの映画監督イブ・シャランと協議離婚したと羽田空港で発表。岸は昭和28年に「君の名は」で一躍スターになり、31年の結婚以来パリに住んでいた。



毎日新聞刊



▲歌舞伎の坂東三津五郎、ふく中毒死(1月16日)人間国宝の8世三津五郎が京都南座に出演中、ふくの肝を食べて死去。68歳だった。写真は28日、東京・青山斎場での葬儀。



読売新聞刊



毎日新聞刊

▲マラッカ海峡で日本のマンモスタンカー「祥和丸」が座礁(1月6日)原油4500キロリットルが流出、インドネシアは日本に対して補償請求を決めた。

▶神奈川県三浦市で大火(1月19日)連洋漁業基地として知られる港町・三崎で、異常乾燥と強風のため漁港近くの住宅密集地が燃え、38棟が全半焼し、69世帯229人が罹災。原因は放火だった。

読売新聞刊



読売新聞刊

▼最後の木曾駒死ぬ(1月17日)純血種は長野県開田村のこの1頭のみとなっていたが、人間で言えば100歳。自然死を待つと肉体が破壊されるので、馬体保存のため、安楽死させ剥製にした。

▲日独交歓サッカー(1月5日)欧州チャンピオンのバイエルン・ミュンヘンは1974年W杯得点王のミュラーと「帝王」ベッケンバウアー(左)を擁する強豪。日本代表は5日、7日の2試合を0-1と健闘。



読売新聞刊

### 昭和50年1月

- 1(水)愛国・幸福以来の駅名あやかり切符ブームで、国鉄鳥山線大金駅の入場券四二九八枚売れる。
- 2(木)東大医学部で人工心臓を埋めこんだ山羊が一月生存。世界第一位の記録。
- 3(金)三日月の初詣で客が五九五〇万人の史上最高記録。川崎大師など著名寺社は大幅減。
- 4(土)男性長寿一位は東京、女性岡山と厚生省。
- 5(日)環境庁、初の「緑の国勢調査」発表。国土の八割が開発され、海岸線の二割が人工海岸線。
- 6(月)タンカー「祥和丸」、マラッカ海峡で座礁。
- 7(火)毎日放送「まんが日本昔ばなし」の放映開始。
- 8(水)モロタイ島で見つかった台湾出身の元日本兵李光輝(中村輝夫、三一年ぶりに台湾に帰国)。
- 9(木)東京の法人所有地が一年で四四割増と判明。
- 10(金)日立製作所、管理職・役員の給与カットを発表。
- 11(土)高速道路料金の平均六六・五割値上げを認可。
- 12(日)一〇日米の大雪で国道八号線ではトラックなど七〇〇台が一日立ち往生。
- 13(月)前年の倒産二万六八一件で過去最高と判明。
- 14(火)東京の大家劇場「千住寿劇場」が閉館。
- 15(水)近鉄、早大を破り七年ぶりリーグ日本一。国立競技場に東京五輪以来の六万人の観衆。
- 16(木)先進〇カ国蔵相会議、オランダ・連元弟金融援助協定締結などの共同声明発表。
- 17(金)日本在米馬「木曾駒」の最後の一頭が死に絶滅。
- 18(土)「太りすぎ」が前年比三割減と国民栄養調査。
- 19(日)三浦市で大火。三八棟全半焼、二九人罹災。
- 20(月)岸恵子、イブ・シャランとの離婚を公表。
- 21(火)私大連盟、四一社が就職内定取り消しと発表。
- 22(水)十大商社の株保有額が八年で七倍と公表。
- 23(木)大阪万博の「太陽の塔」を永久保存と決定。
- 24(金)東京都個人タクシー協会、乗客激減で無線による呼び出しの割増料金廃止と決定。
- 25(土)筑波大の学生寮入居制限問題で学生が団交。
- 26(日)女子バレーの日立、五四連勝でストップ。
- 27(月)プロ野球の金田正一、四〇〇勝記念ボールとクラブが入りの殿堂入り。
- 28(火)体協、アマ選手の広告出演を条件つき認可。
- 29(水)シャープ、八桁表示七九〇〇円の電卓発売。
- 30(木)厚生省、死亡事故統計三種混合ワクチンの予防接種一時中止を指示(3月19日継続決定)。
- 31(金)「エス・エス・エス」解放戦線が政府軍を攻撃開始。内戦に突入。





LAYOUTを買って  
それぞれ、  
で聴ける  
を加えよう!

Save Money!  
料金を1/3に抑えて、  
LAYOUT PS-2 新登場

南良和

▼「クイーン・エリザベスII世号」  
日本寄港(3月7日) 92日間世界一周  
の旅の途上、5日の神戸港に続き、  
横浜港へ。横浜には4日間で52万人  
の見物客が押し寄せた。世界最大の  
英国豪華客船と雪化粧の富士山。

▶大関貴ノ花、悲願の初優勝(3月23  
日) 大阪府立体育館で行われていた  
大相撲春場所千秋楽優勝決定戦で横  
綱北の湖を寄り切り、初優勝を決め  
た。この瞬間、テレビ視聴率は50パ  
ーセントを超えた。



日刊スポーツ



共同通信社



WWP

▲サウジアラビアのファイサル国王暗  
殺(3月25日)甥のムサエド王子が射殺。  
中東和平推進の盟主の死に欧米諸国は  
ショック。しかし急進派の蜂起はなく、  
ハリド皇太子が王位を継承した。

◀上野駅地下街は満員(3月)オイル・シ  
ョック以後の不況は出稼ぎ労働者にと  
っても深刻だった。総理府が前月末、  
完全失業者が8年ぶりに100万人を突  
破と発表したばかり。宿泊代の節約の  
ため夜をここすごした。



WWP

▲チャップリンに英王室が「ナイト」  
授与(3月4日)女王臨席のもと、パッキ  
ンガム宮殿で授与式。86歳になった喜  
劇王は、以降「サー」と呼ばれること  
になった。写真は式後、オオナ夫人と。

◀新幹線、東京―博多間開業(3月10  
日)この日、岡山―博多間の山陽新幹  
線が開通し、6時間56分で両駅が結ば  
れることになった。写真は博多発東京  
行きの一番列車「ひかり100号」。



朝日新聞社

◀反体制詩人の金芝河  
釈放(2月15日)前年7  
月、民青学連事件で無  
期懲役判決を受けてい  
たが、朴韓国大統領の  
「国民総和実現のため」  
の措置により釈放され  
た(中)。しかし、3月  
には再び反共法違反で  
逮捕される。

▶18歳のステンマル  
ク、逆転優勝(2月21  
日)新潟県の苗場スキ  
ー場で行われたアルペ  
ンスキーのW杯大会男  
子大回転で1本目3位か  
ら優勝。スウェーデン  
が生んだ天才は翌年総  
合優勝し、初の10代ア  
ルペン王者となる。



WWP



朝日新聞社



共同通信社

◀零歳時の水泳教室(3月)  
1960年代に欧米で始め  
り、体力向上や人間形成  
に効果があると紹介され  
たため、教育熱心な母親  
たちを刺激、流行した。  
写真は東京のプールで泳  
ぐ乳児。水になれること  
が、まず目的だった。



読売新聞社

## 昭和50年2月

- 1(主) 全国の地価が平均九・二割下落と国土庁発表
- 2(主) 私鉄各社が繰起よい駅名探しに懸命と新聞に
- 3(主) ハリキ日航機で集団食中毒、一四五人入院
- 4(主) 警察庁、暴力団福川会一斉手入れて二六〇人逮捕(6日山口組手入れて三五一人逮捕)
- 5(主) 今市で教師の教え方が悪いと二回にわたる爆弾予告電話をかけた母親逮捕
- 6(主) 自民党「企業献金全廃は違憲」と政治資金規正法三草案に反対(首相は法制化断念)
- 7(主) 公取委、化粧品販売会社ホリデイ・マジックを強制調査。初のマルチ商法摘発
- 8(主) ソウルで統一協会が結婚式、日本人一五九人含む二〇カ国三六〇〇人が出席  
●宮下順子主演の映画「実録・阿部定」封切
- 9(主) ママさんコースの全日本合唱祭が開催
- 10(主) 東京都、機構縮小・手当削減を都労連に提示
- 11(主) 英保守党党首にM・サッチャー選出
- 12(主) 経団連、企業分割など独禁法強化反対を表明
- 13(主) 品川信用組合の前支店長、二億六〇〇万円の暴力団不正融資で逮捕
- 14(主) コカ・コーラ出荷量、日本で初の減少と新聞に
- 15(主) 韓国大統領赦免権で金芝河ら政治犯釈放(17日) 釈放された早川露春、太刀川正樹帰国
- 16(主) 四日市市の大昭和石油のタンクが炎上(同石油化学コンビナートでの年事故が三件)
- 17(主) 地婦連、昭和四三年以来の一〇〇円化粧品「ちふれ」を一五〇円に値上げと発表
- 18(主) 財政危機の滋賀県、知事・管理職の給与削減。歯科医の差額徴収に苦情が殺到
- 19(主) 大阪で歯の苦情一〇番開設(以後全国に広がる。歯科医の差額徴収に苦情が殺到)
- 20(主) 元東大総長加藤一郎、国連大学副学長に内定。●全国酪農民総決起大会、乳価引き上げを要求
- 21(主) 運輸省、韓国への渡航規制を解除
- 22(主) 自動車排ガス五一年度規制基準発表
- 23(主) 新宿の伊勢丹百貨店に爆破予告、一万人避難  
●歌舞伎の坂東流で内紛表面化。故三津五郎夫人が三津十郎を家元指名し賛助派と対立
- 24(主) 京都府教委、五段階相対評価の転換を推進
- 25(主) 豊都を視察する新首相問題懇談会が初会合
- 26(主) 東京高裁、男性より女性が一〇年早い伊豆シャボテン公園の定年制は無効と判決
- 27(主) 住宅公団関東支社管内の第一回空き家抽選で、四六〇〇戸に過去最高の二五万人が応募
- 28(主) 東アジア反日武装戦線、閩組本社ビルを爆破

## 昭和50年3月

- 1(主) 選抜高校野球の入場行進歌に森昌子のおかあさんを採用と発表
- 2(主) 国分寺市で「コミュニケーション」開催
- 3(主) 日本軽金属と鐘紡、買上げ凍結を労組に提案
- 4(主) O・チャップリン、「ナイト」の称号を受ける
- 5(主) 世界一周途上の豪華客船「クイーン・エリザベスII世号」が神戸入港(7日横浜入港)
- 6(主) 女子中高生補導が戦後最高と「非行少女白書」
- 7(主) 前年戦後初のマイナス成長と経企庁発表
- 8(主) 自治省、地方自治体の給与水準を発表。大都市周辺では国に比べ三〇・四〇割高
- 9(主) 自民党が大阪で会費六万円の「政経文化パーテイ」開催。党費集めの新方式に
- 10(主) 山陽新幹線の岡山―博多間が開業
- 11(主) 富士通、コンピュータ業界初の海外進出で、スペインに情報処理の合併会社設立と発表
- 12(主) 厚生省、中国残留孤児の初公開調査を開始
- 13(主) ソウルで金芝河が拉致される(翌日再逮捕)
- 14(主) 中核派の書記長・本多延嘉、華マル派に撲殺される(16日中核派、報復を宣言)
- 15(主) 中央公害対策審、新幹線騒音基準の原案決定
- 16(主) 日英ゴルフで個人・団体とも日本が優勝
- 17(主) 社会党、米軍岩国基地で核・生物・化学兵器作戦実験隊司令部の写真を入手と発表
- 18(主) 富士銀行、普通預金の利息下限金額を一〇〇〇円から一〇〇円に改正と決定
- 19(主) 服飾の流行は画一時代去り多様化、と新聞に
- 20(主) 政府主催の食品売り「フードウィーク」が十都市、一二四〇〇〇店舗参加で始まる
- 21(主) 宮城まり子、近畿放送で初の二五時間テレビ番組「チャリティー・テレソン」に出演
- 22(主) 身障者に自動車免許など警視庁が規制緩和
- 23(主) 大相撲で関取貴ノ花(現ニッポン親方)初優勝
- 24(主) ミツフ石炭、会社整理申請し事実上の倒産
- 25(主) サウジアラビアのファイサル国王、暗殺
- 26(主) 野尻湖で参加自由のナウマン象発掘作業開始
- 27(主) 都心の小学校で児童確保に卒業生らが奔走、転校引きとめて越境通学増加と新聞に
- 28(主) 国民政治協会発足。金権批判の国民協会改組
- 29(主) 公団・公庫役員八割天下りと「天下り白書」
- 30(主) 週休二日制実施企業が四割突破と労働省調査
- 31(主) テレビの東京・大阪間の系列交換、TBS・毎日放送、NET(現テレビ朝日)、朝日放送  
●東北自動車道の郡山―白石間が開通





▲ハングライダー上陸(4月4日)新しいスポーツのひとつ、ハングライダーの米国人による実技が東京の国立競技場で行われた。鳥人世界一を決める世界大会は翌年に行われている。

▼カンボジアのプロンペン解放(4月17日)4月に入ってロン・ノル大統領ら政府軍が続々脱出、米軍も引揚げたため、キュー・サムファン司令官ら解放勢力は、抵抗を受けずに占領した。



日刊スポーツ

▲フォーク歌手4人が会社設立(4月11日)吉田拓郎、小室等、井上陽水、泉谷しげる(写真右から)がフォーライフレコードを発足、好きなレコードの製作をめざした。

▶神奈川に初の革新知事(4月13日)統一地方選挙で学者出身の長洲一二(写真)が当選。東京の美濃部亮吉、大阪の黒田一とともに「革新メガロポリス」を形成。



読売新聞社

◀活躍するトンガ力士(4月)南太平洋にあるトンガ王国から、前年10月に朝日山部屋に入門。4人同時に角界入りしたためホームシックもなく稽古十分。初場所には椰子の山が序ノ口優勝をはたした。写真はチャンコを作る力士たち。

毎日新聞社

▼警視庁、内ゲバ取締り対策室設置(4月3日)激化していた革マル派対中核派の内ゲバは、3月、中核派・本多書記長が殺され、革マル派への報復宣言が出るにおよんで緊迫感が高まり、警視庁は非常事態を宣言していた。



共同通信社



馬場直城

◀エベレストに女性初登頂(5月16日)4日には13人が負傷する事故もあったが、日本女子登山隊(久野英子隊長ら15人)の田部井淳子がシェルパとともに、ついに世界最高峰の頂上に立った。

▼稲葉修法相、改憲論(5月7日)3日に自主憲法制定会議に出席、この日の参院決算委でも「現行憲法は欠陥が多い」と述べ野党の抗議で審議中断。21日発言取り消し、三木首相が「改憲せず」と表明。



読売新聞社

朝日新聞社



▲エリザベス女王、来日(5月7日)皇居豊明殿で開かれた天皇主催の晩餐会に出席し、9日には夫君のエジンバラ公とともに都内をパレード。英国元首の日本訪問は初めてだった。

毎日新聞社



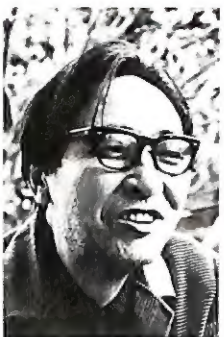
毎日新聞社

▼連続企業爆破犯を逮捕(5月19日)「東アジア反日武装戦線」を名乗る8人。彼らは次々爆弾事件を起こしながら、平凡な市民として身をひそめていた。写真は床下で爆弾を作っていたアパート。



読売新聞社

証言・あの日この日 宮 柁二(62)



3月11日(火)〈読売新聞〉には、北極を一人で渡っている植村直己さんが、グリーンランド北部のツレーに辿り着いたと報じられてあった。北極の闇の中で磁石が役に立たなかったことや、犬に逃げ出されたことや、そのために自分で

杭を押さなければならず汗が出ると、その汗が氷点下30度の寒さの中ではたちまち顔に氷りついたということなど、記事は短いか読んでゆくと胸の躍るおもしろいのであった(宮柁二「忘れ草」)

▼交通ゼネスト(5月9日)大幅な賃上げ要求を掲げて前日からストに入った国労・動労に続き、私鉄総連も第2次ストに突入。翌日午後まで交通網が全面麻痺。写真は東京の品川車両基地に停車する新幹線。



- 31(土) 国鉄、春闘別分者九〇八九人を労組に通告
- 30(金) 西宮市役所で全国初の管理職組合結成
- 29(木) 新潟県の開拓地で野菜への転作では生活できないとして水田耕作再開、と新聞に。
- 28(水) 科投庁、ソーラーハウスの実験住宅を公開
- 26(月) 甲府市で自動販売機での酒類深夜販売を禁止
- 27(火) 兵庫県島で水不足解消のための日曜〇〇〇の海水淡水化装置が完成
- 25(日) 日本タビの売り上げが一億九千九百万の新記録。カブヤオが皇宮賞に続き二冠に輝く
- 24(土) 放送作家組合・新聞労連など、第一回国語と差別を考えるシンポジウムを開催
- 23(金) トルエン遊びが流行、警視庁は四カ月で三〇〇〇人を捕縛と新聞に。
- 22(木) 長崎県が拒否し対馬の「むつ」母港化を断念
- 21(水) 月刊「PLAYBOY」日本版「集英社」創刊
- 20(火) 公害防止投資は二六兆円と環境白書 予測
- 19(月) 東アジア反日武装戦線の八人、連続企業爆破容疑で逮捕、齋藤和、取調室で自殺。
- 18(日) 従業員に生命保険をかけ殺害した高知県の運送業経営者が逮捕される。
- 17(土) 小田実ら三人が金沢河川敷要求のハンスト
- 16(金) 田部井淳子、女性で世界初のエベレスト登頂
- 15(木) 五生協合併し「かながわ生活協同組合」発足
- 14(水) サッカリン規制を緩和、主婦連など抗議声明
- 13(火) 失業率一・二万人で前年比一・五増と総理府
- 12(月) 中沢啓治「はだしのゲン」(汐文社) 刊行
- 11(日) 都内の日曜歩行者天国、雨でも実施と決定
- 10(土) 厚木市の高校で授業中に男子生徒が三人刺傷
- 9(金) 上場企業の約三分に減配など戦後最悪の決算
- 8(木) 国労、動労、七二時間スト突入(9日私鉄も)。
- 7(水) エリザベス女王夫妻が初めて来日
- 6(火) 沖縄県伊江島での米兵発砲事件(49年7月)で日本政府は裁判権放棄を決定
- 5(月) 米キッシンジャー国務長官、NBCテレビで米国のベトナム政策は誤りだったと語る。
- 4(日) 元兵庫県警署長、宝塚市の生協で強盗未遂。派出所から盗んだ拳銃で警備員を銃撃。
- 3(土) 稲葉修法相、自主憲法制定国民会議に出席
- 2(金) 坂東三郎、新派の舞台(稽古場)に初出演
- 1(木) 世界初の海上空港、長崎空港が開港
- 30(火) 日本初の外国人監督、広島島の「ルーツ」が主審に進行退場し、退団(後任、古澤竹識)
- 29(火) 住宅金融公庫に申請殺到、初日で締め切り
- 28(月) 住宅金融公庫に申請殺到、初日で締め切り
- 27(日) 日本初の外国人監督、広島島の「ルーツ」が主審に進行退場し、退団(後任、古澤竹識)
- 26(土) 東京地検、男性ヌード掲載の「女性自身」誌を起訴猶予、一審無罪判決
- 25(金) 米軍千歳基地を六月に閉鎖と北海道に通知
- 24(木) 公衆浴場で長髪男性からの洗髪料徴収認め
- 23(水) 運輸省、前年の船舶受注は前年比一八割減と
- 22(火) ゼンセン同盟、葛上隆雄の船務労組を除名
- 21(月) 大分県庄内町でM六・四の直下型地震
- 20(日) 東京の進学塾「四谷大塚進学教室」の入塾試験を二万六〇〇〇人の小学生が受験
- 19(土) 劇団天竺、三〇時間市街劇「フック」上演
- 18(金) 海上都市アクアポリスが広島出航、海洋博へ
- 17(木) カンボジアでロン・ノル政権崩壊
- 16(水) 日立市の工場でトルエンが住宅街に大量流出
- 15(火) 閣議、全閣僚の給与一〇割削減を決定
- 14(月) 名古屋地裁、部屋ごとに駐車庫がつくモデルは社会秩序損なうと営業停止処分を支持
- 13(日) 第八回統一地方選挙。東京で美濃部三選大阪で黒田再選、神奈川で革新の長洲一二当選
- 12(土) 東大、七年ぶりの入学式を武道館で行う
- 11(金) 小室等・吉田拓郎・井上陽水・泉谷しげる、フォーライフレコードの設立を発表
- 10(木) 山上たつひこの漫画「がきデカ」第一巻発売
- 9(水) 高校生のマルチ商法加入増に警察庁通達
- 8(火) 韓国の人民革命党事件で八人の死刑確定
- 7(月) 小野田寛郎、ブラジルに移住
- 6(日) 皇居周辺で毎週日曜に自転車専用道路が開放
- 5(土) 双子の歌手ザ・ビーナッツ引退(6月4日、伊藤エミと沢田研二が結婚を発表)
- 4(金) ルーマニア大統領チャウシエスク来日
- 3(木) 警察庁に国際刑事課が発足
- 2(水) 熊本中央郵便局で県議選投票依頼文に五〇〇円札同封の封書二万通を発見
- 1(火) 初めて市が村の数を上回ると自治省発表

昭和50年4月

- 1(火) 初めて市が村の数を上回ると自治省発表
- 2(水) 熊本中央郵便局で県議選投票依頼文に五〇〇円札同封の封書二万通を発見
- 3(木) 警察庁に国際刑事課が発足
- 4(金) ルーマニア大統領チャウシエスク来日
- 5(土) 双子の歌手ザ・ビーナッツ引退(6月4日、伊藤エミと沢田研二が結婚を発表)
- 6(日) 皇居周辺で毎週日曜に自転車専用道路が開放
- 7(月) 小野田寛郎、ブラジルに移住
- 8(火) 韓国の人民革命党事件で八人の死刑確定
- 9(水) 高校生のマルチ商法加入増に警察庁通達
- 10(木) 山上たつひこの漫画「がきデカ」第一巻発売
- 11(金) 小室等・吉田拓郎・井上陽水・泉谷しげる、フォーライフレコードの設立を発表
- 12(土) 東大、七年ぶりの入学式を武道館で行う
- 13(日) 第八回統一地方選挙。東京で美濃部三選大阪で黒田再選、神奈川で革新の長洲一二当選
- 14(月) 名古屋地裁、部屋ごとに駐車庫がつくモデルは社会秩序損なうと営業停止処分を支持
- 15(火) 閣議、全閣僚の給与一〇割削減を決定
- 16(水) 日立市の工場でトルエンが住宅街に大量流出
- 17(木) カンボジアでロン・ノル政権崩壊
- 18(金) 海上都市アクアポリスが広島出航、海洋博へ
- 19(土) 劇団天竺、三〇時間市街劇「フック」上演
- 20(日) 東京の進学塾「四谷大塚進学教室」の入塾試験を二万六〇〇〇人の小学生が受験
- 21(月) 大分県庄内町でM六・四の直下型地震
- 22(火) ゼンセン同盟、葛上隆雄の船務労組を除名
- 23(水) 運輸省、前年の船舶受注は前年比一八割減と
- 24(木) 公衆浴場で長髪男性からの洗髪料徴収認め
- 25(金) 米軍千歳基地を六月に閉鎖と北海道に通知
- 26(土) 東京地検、男性ヌード掲載の「女性自身」誌を起訴猶予、一審無罪判決
- 27(日) 日本初の外国人監督、広島島の「ルーツ」が主審に進行退場し、退団(後任、古澤竹識)
- 28(月) 住宅金融公庫に申請殺到、初日で締め切り
- 29(火) 「母乳運動」広がる粉ミルク減産と新聞に
- 30(水) 南ベトナム解放民族戦線、サイゴンに入城。大統領は無条件降伏し、ベトナム戦争終結





▲国際婦人年世界会議開幕(6月19日) 国連が男女平等と女性進出促進のために定めたこの年のハイライト。メキシコで138カ国2000人の参加者が議論、その中で「ミス」の呼称が公認された。



▲スエズ運河、8年ぶり再開(6月5日) 第3次中東戦争でイスラエルがシナイ半島を占領して以来、中東緊張緩和、エジプト経済再建への大きな一歩だった。



▼31年ぶりの日本(6月10日) 元満洲開拓青年義勇隊員が一時帰国し、故郷・広島市で長男とともに実姉に再会。帰国できないまま中国に定住していた。



時事通信社



時事通信社



共同通信社

▲ベトナム難民、日本上陸(6月27日) サイゴン陥落以来、初めて50人という多人数が横浜港に到着。日本は受け入れ拒否、亡命国決定までの一時入国を認めた。

▲銀座に公設銭湯、オープン(6月10日) 相次ぐ廃業で風呂がなくなり、都設民営方式の「銀座湯」が1丁目にできた。美濃部都知事(右)も開所式に。

## 20世紀博物館

### ビール博物館

北海道・札幌市

桑原茂夫

「一世紀を経た建造物だからこそ  
「ビール前史」を保存できる



▲明治・大正時代のポスター。まだ女性の肌は見せていない。



▲かつて流通していたビール瓶の数々。上段にはなんと1升入りのビール瓶が並んでいる。



▲煉瓦造りの歴史的な建物で、「開拓使麦酒記念館」でもある「ビール博物館」。

生ビールの喉ごしの爽やかさは、ビール党にはこたえられない。一九七〇年代なかばは、そんな爽快感を追求したビールが、競って発売された時でもあった。生が瓶などに詰められて流通するようになったのはたしかに画期的な出来事だったが、話としては、それよりはるか以前に、初めて国内での生産体制を整え、瓶に詰めたビールを広く流通させていたビール黎明期の昔話の方が、迫力があって面白い。

一九世紀後半の微生物学の進歩や、低温殺菌法などの開発を経て、今世紀に入ってから、やっとビールは広く流通する飲み物になり、どこでも味わえるようになったのだが、そんな時代の情緒まで味わえるのが、札幌市にあるサッポロビールの「ビール博物館」だ。

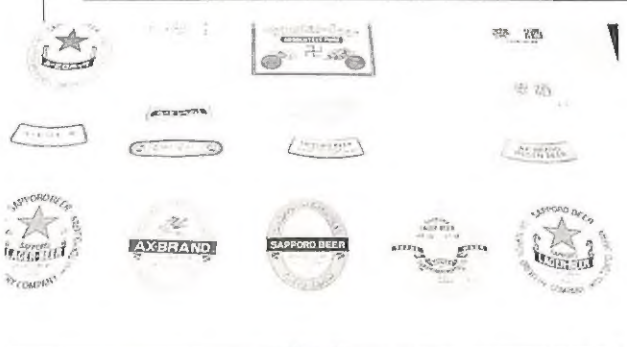
煉瓦造りのどっしりとした建物で、背後には、石を積み上げたようなこれも重厚感のある煙突が見える。明治二三年(一八九〇)に製糖工場として建てられ、明治三六年(一九〇三)に精麦工場に改修された建物である。つまりすでに一世紀を経た歴史的な建造物が、一五〇〇平方メートルの展示スペースを持つ博物館になっているのである。

博物館に入る前に「ポスターのトンネル」

「ル」を通ることになるが、ここでは、明治・大正・昭和と時代とともに息づいてきたポスターが醸し出す、妙にエロチックな雰囲気包まれることになる。副館長の平野晃一氏が語ったところによると「ビールは今のようには普通に飲めるものではないですね。高価な飲み物だったのです。ポスターにも贅沢さや享樂的な要素が求められていたというわけである。

ところで北海道における国産ビールの製造は、明治九年(一八七六)の開拓使麦酒醸造所の開業をもって始まるが、この時、主任技師として活躍したのが中川清兵衛。ドイツのチボリという所で修業をして、マイスターの資格を得た本格派ビール職人である。博物館にはその修了証書があつて、日本ビール前史の意気込みをリアルに感じることができる。

また、北海道にビール醸造所を設けるべきとする、村橋久成という人の稟議書や、日本で初めてのビール製造会社



大日本麦酒株式会社の輸出向けビールの種類

▲早くから外国へも輸出されていたビール。いろいろな味が、往時のにぎやかさを感ぜさせる。

- 昭和50年 6月
- 1日 ●大分県で第一回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会開催。一八カ国九七四人が参加。
  - 2日 ●仏リヨン市で先春婦一〇〇人が警察の取締りに抗議し教会占拠。各地に波及。
  - 3日 ●大阪地裁、矢田教育差別文書事件(44年)で部落解放運動の糾弾は正当と無罪判決。
  - 4日 ●三菱重工、一万人の一時帰休を労組に提案。
  - 5日 ●中東戦争で閉鎖のスエズ運河が8年ぶり再開。
  - 6日 ●参院決算委、田中金脈問題で政府に警告決議。
  - 7日 ●阪東三郎三回忌記念の阪東映画祭が開演。
  - 8日 ●鎌倉市で暴走族六〇〇人が乱闘。六十七人検挙。
  - 9日 ●中国とフィリピンが国交樹立(7月1日中国とタイも「覇権主義反対」の共同声明)。
  - 10日 ●(火)「紅茶の心」が爆発的ブーム。効果は疑問と新聞に(23日新潟で販売業者模範)。
  - 11日 ●警察庁、暴走族に免許停止三〇日加算など厳罰でのぞむと決定(14日全国一斉取締り)。
  - 12日 ●米政府合同調査委員会、フロンガスの禁止を米政府に勧告。
  - 13日 ●金)売り上げ伸びが四一年以来最低と百貨店協会。
  - 14日 ●根室沖でM7.7の地震。国後島の爺岳山噴煙。
  - 15日 ●光化学スモッグ被害がこの年六六八一人に。
  - 16日 ●佐藤栄作の国民葬で石破が三首首相に昇格。
  - 17日 ●衆院本会議、婦人の地位向上決議案を可決。
  - 18日 ●映画「潮騒」で山口百恵をリードしたのは許せないと東宝への放火はかつた青年逮捕。
  - 19日 ●(木)メキシコで国際婦人年世界会議、開演。
  - 20日 ●(金)米国防長官、韓国への核兵器配備を認める。
  - 21日 ●夕食材料を出前する新商売が人気と新聞に。
  - 22日 ●九州に集中豪雨。垂水市で山崩れ、七人死亡。
  - 23日 ●国鉄、浜松市と富士市の三八戸に新幹線公舎で初めて移転補償費六億一〇〇〇万円提示。
  - 24日 ●(火)加藤登紀子の別荘で早マルが早労働人殺害。
  - 25日 ●(水)金ヶ崎共闘の活動家、皇太子の沖縄訪問に抗議し米軍嘉手納基地前で焼身自殺。
  - 26日 ●(木)海外勤務者の子女教育調査で、高校生の五割が日本に残留、帰国者の三割が特別学習希望。
  - 27日 ●(金)ベトナム難民五〇人が横浜へ、初の大量上陸。
  - 28日 ●(土)就職情報(日本リクルートセンター)創刊。
  - 29日 ●米映画「タワリング・インフェルノ」封切。
  - 30日 ●大腸四頭筋短縮症の子供を助ける会、医師団、製薬会社への損害賠償提議を決定。
  - 31日 ●(月)自民・民社議員一八〇人が日報議員連盟結成。





▲ごはんにもインスタントの登場 カップ麺などのインスタント食品で知られる日清食品が、インスタントごはんの「カップライス赤飯」を1個200円で発売して話題を呼んだ。湯をかけると炊きたてのごはんができるとあって試食会は大成功。初出荷も順調だったが、後の売れ行きは今ひとつだった。インスタント食品にもやはり限界があり、ごはんはそれぞれの家庭の味が好まれると発売元は分析している。



▲明太子も東京で食べる時代に 東京一博多間が新幹線で結ばれるなど、高速交通網が発達するとともに、流通にも大きな変化が起きてきた。食品会社のふくやが商品化した博多名物「からしめんたいこ」が、東京などでもさかんに食べられるようになったのも、この頃。「めんたい」はスケトウダラのハングルが日本語化した言葉で、タラの子のタラコを素材にしたものだから「めんたいこ」と称した。200グラム入り700円など。



▲クルマの中でステレオを楽しむ 自動車の普及とオーディオ装置の高度化というふたつの流れが合流して、パイオニアの「コンポカーステレオ」が生まれた。カーステレオを本格的なものにするためには、従来の3倍の容積が必要だったが、アンプとチューナー、カセットデッキを分割して車中に搭載するというアイデアで、これを可能にした。2万4900円。



▲どこで撮ってもきれいな写真 35ミリカメラでは世界で初めてという、ストロボ内蔵の自動シャッターカメラ「ピッカリコニカ」が発売され、室内でも簡単に撮れると大好評。ストロボはポップアップ式。ボディは主としてグラスファイバー入り硬質プラスチック製で大幅コストダウン。2万9800円という価格やインパクトのあるテレビコマーシャルが功を奏して、大衆カメラの新時代到来を告げるヒット商品となった。

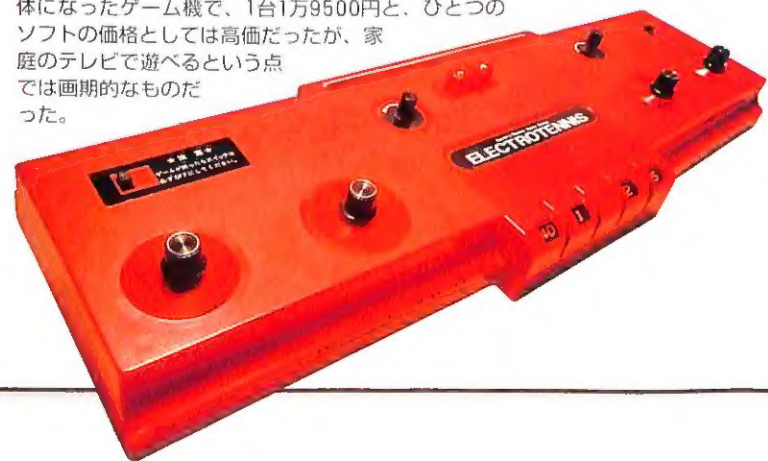
▶使い捨てライターが爆発的ヒット 透明なプラスチック容器の中に液化ガスが見えるライター「チルチルミチル」が1個100円で売り出され、生産が追いつかないヒット商品となった。製造したのは東海精器(現・東海)で、それまでも開発・販売を試みてきたが、品質上のトラブルや、原材料の高騰などで実現できなかったもの。東京パイプの協力を得て、安定した品質とコストダウンに成功、年間6000万個販売という定番商品が誕生した。



#### ▲日本で初めての成型ポテトチップス

アメリカで人気を博していた成型ポテトチップスを日本でも販売しようと、その試作に取り組んでいたヤマザキナビスコは、この年独自の量産機械の開発に成功。「チップスター」と名づけ、翌年早々から1箱200円で発売に踏み切った。円筒形のパッケージも斬新だったが、形のそろったポテトチップスは珍しく、たちまち人気商品になり、以降現在に続くロングセラー商品となった。

▼テレビゲームが家庭の中に入ってきた この年エポック社は、テレビに接続して遊べるテレビゲーム機「テレビテニス」や「ブロックくずし」を発売した。ゲームセンターなどで次第に人気を得てきたテレビゲームが、家庭のテレビを使って楽しめるようになったのである。ハードとソフトが一体になったゲーム機で、1台1万9500円と、ひとつのソフトの価格としては高価だったが、家庭のテレビで遊べるという点では画期的なものだった。



## モノ語り75 使い捨てライター「チルチルミチル」に「チップスター」 「ピッカリコニカ」



▲「播磨灘物語」(上中下各850円)



▲「複合汚染」(上750円、下700円)



▲「ピッカリハウス」(150円)

#### ●昭和50年のベストセラー

- 1位 「播磨灘物語(上・中・下)」(司馬遼太郎 講談社)
- 2位 「複合汚染(上・下)」(有吉佐和子 新潮社)
- 3位 「欽ドンいってみようやってみよう(I・II)」(萩本欽一 集英社)
- 4位 「眼がどんどんよくなる」(H・ペバード 青春出版社)
- 5位 「前れゆく日本をどう救うか」(松下幸之助 PHP研究所)
- 6位 「親の顔が見たい(正・続)」(川上源太郎 主婦の友社)
- 7位 「ブラック・ホール」(J・ティラー 講談社)
- 8位 「謎のバミューダ海域」(C・バーリッツ 徳間書店)
- 9位 「元禄太平記(前・後)」(南條範夫 日本放送出版協会)
- 10位 「梅干と日本刀(正・続)」(樋口清之 祥伝社)

有吉佐和子が「朝日新聞」に連載した『複合汚染』が、連載中から話題騒然、単行本として四月に上巻、六月に下巻が刊行されるや、たちまちベストセラー上位に名をつらねた。テーマが読者の健康をおびやかす『複合汚染』で、舞台は同時代の日本列島。そして、読者の日常生活と同時進行で進められるノンフィクションだっただけに、反響は大きかった。

「複合汚染」というのは、農薬や食品添加物、合成洗剤、排気ガスなどの毒性物質が、体内で相乗作用を起こすことをさす専門用語である。しかし、科学的に「複合汚染」の実態を明らかにするには半世紀かかるので、「小説書きとして状況証拠だけで書くこと」(上巻後書き)したもの。これを非難する声に対しては「『花鳥風月』が危機にさらされている時、一人の小説書きがこういう仕事をしたいのか」と、その意図を貫いた。

またこの年、司馬遼太郎の『播磨灘物語』(全三巻)もよく読まれた。豊臣秀吉のブレンだった黒田官兵衛の生涯を描き出した作品。「官兵衛はただ、秀吉という巨大な画布を用いて自分の絵を描く画工の位置にあまんじていたし、描くことだけが好きだ」という官兵衛の姿勢が、秀吉を安心させ、信じさせた」が、その優れた才能を、秀吉がおそれる面もあったようだ。こうした微妙な関係が、サラリーマン社会に通じるところがあったのかもしれない。合わせて百万部を超えるベストセラーになった。

なお、バルコ出版から若者向けのミニマガジン「ピッカリハウス」が創刊されたが、新しい文化の創出をめざす流通業界からのメディアとして注目された。



▲「ある映画監督の生涯・溝口健二の記録」で監督との微妙な関係を語る田中絹代。

▶「金環蝕」で、政・財界の裏を知る金融業者を演じる宇野重吉(右)と、巧みにカネを集める幹事長役の仲代達矢(左)。



▲「青春の門」で、主役の少年を演じた田中健(左)とその母親役の吉永小百合(中)。写真右の小林旭は彼らの後見人の役。



新藤兼人が撮った「ある映画監督の生涯・溝口健二の記録」が評判になった。巨匠・溝口健二の軌跡を追うことで、衰退の気配を見せる映画界に「活」を入れるようなドキュメンタリーだった。田中絹代、依田義賢(同時代の脚本家)、伊藤大輔(時代劇の巨匠)、中野実治(無声映画時代からのスター)、浦辺粂子、水田雅一、入江たか子などそうそうたるメンバーの、生きた証言から浮かび上がる溝口健二の像は、今でも十分パワフルで魅力的だ。

一方、政治の表裏を真つ向から描いた山本薩夫監督の「金環蝕」は、現実の政治家たちをモデルにした、限りなくドキュメンタリーに近いこ

## スターと名場面 パワフルな巨匠・溝口健二像 新藤兼人「ある映画監督の生涯」

新藤兼人が撮った「ある映画監督の生涯・溝口健二の記録」が評判になった。

とを思わせる映画だった。

また、五木寛之原作の「青春の門」が

浦山桐郎監督の手で映画化された。大正昭和の激動期に生きた、北九州の炭鉱の人々の姿が、主人公の少年から青年への成長とともにリアルに描かれた。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かつこ内はおもな出演者

「新幹線大爆破」(高倉健) 「男はつらいよ・寅次郎相合い傘」(渥美清、浅丘ルリ子)

「愛の嵐」(シヤイダー) 「青春の門」(田中健、吉永小百合)

「サツツ・エンタテインメント」(フレッド・アステア) 「ジョーズ」(ロイ・シャイダー)

「ザッツ・エンタテインメント」(フレッド・アステア) 「ジョーズ」(ロイ・シャイダー)

「ザッツ・エンタテインメント」(フレッド・アステア) 「ジョーズ」(ロイ・シャイダー)

「ザッツ・エンタテインメント」(フレッド・アステア) 「ジョーズ」(ロイ・シャイダー)

「ザッツ・エンタテインメント」(フレッド・アステア) 「ジョーズ」(ロイ・シャイダー)

「ザッツ・エンタテインメント」(フレッド・アステア) 「ジョーズ」(ロイ・シャイダー)



# 梶山季之(四五)

## ライフワーク取材中に香港で急死 月産二五〇〇枚の「トップ屋」作家

◀昭和45年12月、銀座のバー「魔里」で野坂昭如(左端)、川上宗彦と。いずれも、当代きっての流行作家たち。この前年、梶山は文壇長者番付1位となった。

昭和五〇年五月二二日、「朝日新聞」朝刊は「梶山季之氏急死 取材旅行で香港滞在中」の記事を報じた。梶山が長年あたためてきた日韓関係とハワイやブラジルなど世界各国に散らばる日系二世・三世の問題を描く社会派小説『積乱雲』の取材中の死で、享年四五歳。四〇〇字詰め原稿用紙で月産二五〇〇枚ともいわれた元来、作家のあつけない死だった「季之は自分が韓国生まれ、母がハワイ生まれの二世であるため、今度の仕事が生ライフワークだと張り切っていました」

四月にはハワイを訪れ、さらに作品に登場する香港に取材に来た矢先でした」と、梶山の客死直後、美那江夫人は、同記事に談話を寄せている。死因は持病の結核ではなく、肝硬変による食道静脈瘤破裂。結核という「爆弾」を抱えながら無理を重ねたあげくの過労死ともいふべきものだった。梶山は昭和五年、朝鮮半島のソウル(京城)生まれ。京城中学四年生の時に終戦を迎えると、両親の郷里・広島へと引揚げ、三年後広島高等師範学校(現・

▶昭和五〇年の正月、自宅に家族とともに。梶山は頼まれるといやと言えない人柄と面影のよさから、多くの人に慕われた。



▲46年に梶山が創刊した月刊誌「噂」。

広島大学」へ進学するが、持病の結核が悪化。退屈な療養生活に耐えられず、恋人の小林美那江とともに駆け落ち同然で上京した。上京後、三浦朱門らの「新思潮」へ参加する。一方で、雑誌の「トップ屋」と呼ばれる取材記者になる。

この時期の経験を生かして書かれたのが、出世作『黒の試走車』(昭和三七年)である。「産業スパイ」という言葉が流行語にしたこの一作で、躍大衆小説家として不動の地位を築くや、『赤いダイヤ』『夢の超特急』などの企業小説や、直木賞候補にノミネートされた『今朝残影』のような、連の社会派小説、さらに『ボル』と評される小説まで、さまざまな勢いで書きまくった。その性描写のきわどさに警察の摘発を受けたこともある。

数々の作品に共通する、どろどろした欲望が渦巻く人間社会の暗部をかき分ける梶山の独特の目線。それは、日本統治下の朝鮮半島で生まれたことに始まる波瀾の半生が身につけさせたものだろう。

梶山は、その自伝と言われる『わが鎮魂歌』の中で、無謀な上京とその後の苦労を振り返って、「青春とは無茶なものだ。法律に触れない限り、冒険をした方がいい。たとえ失敗しても、物書きの場合には、まるまる損失にはならないんだから……」と主人公に言わせている。いくつになっても駄々っ子なところがあつたと言われる梶山にとって、短かった一生のすべてが青春だったのかもしれない。

その梶山とともに駆け抜けた半生を、美那江夫人はこう振り返る。「家出して上京する時に、せめて五〇歳までは生きて頂戴と頼んだものでしたが……没後、十三回忌にあたる今年(平成九年)、季之が集めた資料や新たな資料をもとに、さまざまな方々に参加いただき『積乱雲』が刊行されることになりました。季之の思いを形にするこゝから、私もひとまず肩の荷がおりる思いです」



# 「聖戦」を叫ぶ三五万の人波が 砂漠の国境を越えた！ モロッコ民衆のサハラ大行進

「アル・ジハード（聖戦）」と叫びながら、国旗を振り、水筒と毛布を肩にしたおびたしい人々がモロッコの西南端、西サハラ（スペイン領サハラ）の国境に集結していた。その数三五万人。  
一九七五年、〇月、六日。モロッコのハッサン国王は西サハラの領有権を全世

界に示すねらいで「三五万人による平和的越境行進」を発表。国際司法裁判所が同日、西サハラの民族自決権を認める判断をしたことに対する反響でもあった。しかしこの大行進の企画の裏には、もうひとつの政治的意図が隠されていた。モロッコ最大の輸出品であるリン鉱石

◀西サハラとの国境近くに集結したモロッコの民衆。途方もない人の波、強風にはためく赤い国旗に、大地を揺さぶるコーランの祈りがまじり合う。



▲越境し、大サハラを行進する人々。モゼの「出エジプト記」を上回る規模、とさえ言われた

の価格低迷による国際収支の悪化、農産物の不作、物価の上昇、反ハッサン勢力によるたび重なるクーデター未遂、こうした国内の政治的不安に對して、一九五六年にモロッコが独立して以来、悲願であった西サハラ領有を訴えることによって、国民を団結させ、国王の權威を回復しようという意図も含まれていたのだ。そして、武器を持たない三五万人の人々がスペイン駐留軍の銃口に向かって歩くという、砂漠の大スペクタクルは国民に熱狂的に迎えられた。

一月五日午後六時五〇分にハッサン国王はテレビ・ラジオを通じて大行進出

発を告げる。国境近くに集結した三五万人はじ〇〇人ずつ、五〇のグループに分けられてトラックで国境まで運ばれ、翌日午前、〇時三〇分に第一陣が歩いて国境を越えた。

この行進を取材した日本人の記者は「大地が動くようだ、というのはこのことをいうのか。大サハラの砂の上を、人、人、人の大波が、つの方向に打ち寄せる」（『朝日新聞』一月七日）と興奮気味に報告している。

しかし、この大行進を西サハラ（人口七万人）の住民の側から眺めると、モロッコの横暴として映る。スペインの植民地支配の終焉は歓迎するが、だからといって自国がモロッコや、もうひとつの隣国であるモリタニアに領有されるのは反対だという思いがあるからだ。

サハラ大行進は領内……の地点にまで進み、一月九日に中止された。そして一月四日、スペインはモロッコ、モリタニアの西サハラ分割領有を認めるマドリッド協定に調印した。まさにハッサン国王の大きな賭は成功したのである。一方、翌年二月七日には西サハラの独立を宣言してポリサリオ戦線が誕生。アルジェリアに支援されたポリサリオ戦線の戦いは今日まで続いている。

この事件から、〇年後、一九八五年に西サハラを取材したカメラマンの野町和嘉氏は「西サハラへは車で簡単に入れたポリサリオ戦線の戦いもモロッコの実質支配という既成事実が埋没しているように見えた」と言う。

この地域、帯をマグレブ（日没の地）という。真の静かで平和な日没が見られるためにはまだ時間がかかるようだ。



# 「今、こうしている間にも」 向井潤吉を駆り立てた 失われゆく民家への愛惜

この年、七四歳になる洋画家の向井潤吉は、民家を訪ねる旅を以前にも増して意欲的に続けていた。三月に京都、四月に長野を旅し、六月からは青森、秋田、福島と東北地方の旅に向かった。それから戻ると、休む暇もなく長野、滋賀、京都、福島、千葉、茨城などに出かけ、最後は京都への旅行で終わった。この年に描いた油彩画は二四点余り。そのほかに数多くのスケッチを残している。

前年の昭和四九年に、東京セントラル美術館で「画業六〇年記念向井潤吉環流展」が開かれ、初期作品をはじめ、滞欧時の作品、戦中・戦後の作品、民家の作品など計九〇点余りが展示された。続いてこの年五〇年の一月には、横浜高島屋で「向井潤吉民家展」が開かれ、昭和六年から近作にいたるまでの民家の作品七四点が出展された。人の温もりを感じさせる向井の民家は、いずれも水気を含

んだ空気の中で静かにたたずんでいる。この雰囲気を訪れる人々の郷愁を呼びさまし、日常の喧噪を忘れさせるのである。静かなブームを巻き起こした。

向井の旅には、静枝夫人や長女的美芽さんが同行することが多かった。向井は旅先でスケッチするだけでなく、かならず現場で油彩画を描いた。そのため荷物は、一人で持ちきれないほどに膨らみ、家族が手伝うことになったのである。

「主人は名所旧跡には目もくれないのです。民家の残っているところは、バスの便もない不便な場所が多いでしょう。そのうえ、天気次第で移動しなければならぬので、いつも駅前の汚れたような旅館に泊まっていました。主人はよく、俺は旅の絵描きだと言っていました」と、静枝夫人は向井と歩いた旅を回想する。

明治三四年、京都市に生まれた向井は、関西美術院で写実表現を徹底的に仕込ま



▲「山居立春」(神奈川県足柄上郡山北町世附) 昭和50年。油彩、91.1×116.8センチ。この村は、今はダム湖の湖底に沈んでいる



▲制作中の向井潤吉、昭和五〇年頃

ノアールなどの作品を模写し、自室に戻るとスーテンバリの作品制作に没頭していた。帰国後は、バリで鍛え抜かれた技術に裏づけられた力強い人物画や風景画を発表する。

向井が初めて民家を描いたのは、昭和二〇年。長女的美芽さんが学童疎開していた新潟県川口村を訪れた際、民家に魅せられてしまったのである。この時のことを向井は「悪女の深情けにあったようなもので、病みつきになった」と語っている。そればかりではない。戦後の日本は高度成長のもとに、各地で道路やダム建設が進められ、都市が膨張して、古くからあった農村地帯を侵食していった。向井は変貌する風景に接し、絶望的な気分になったが、未知の土地はまだ無限にあるはずだと信じ、飽くことなく旅に出かけていった。今、こうしている間にも、民家は次々に失われていく。一度と見ることができないという切羽つまった気持ちで向井は突き動かしたのである。

こうして向井は、平成七年一月、四日、九二歳でなくなる寸前まで描き続け、民家だけでも生涯に二〇〇〇点におよぶ油彩作品を残している。本宅に真面目人間で、毎日朝八時半から午後三時まで、描いていました」と静枝夫人は語る。

亡くなる二年前の平成五年、向井は所蔵作品のうち、三百余点とともに、自宅兼アトリエとその敷地を世田谷区に寄贈。世田谷区は同年七月、世田谷美術館分館、向井潤吉アトリエ館として開館した。ここには、現在六〇〇点余りが収蔵されている。縁に開かれた二階建ての日本家屋に展示された向井の「民家」作品は、層みずみずしい生気を放っている。



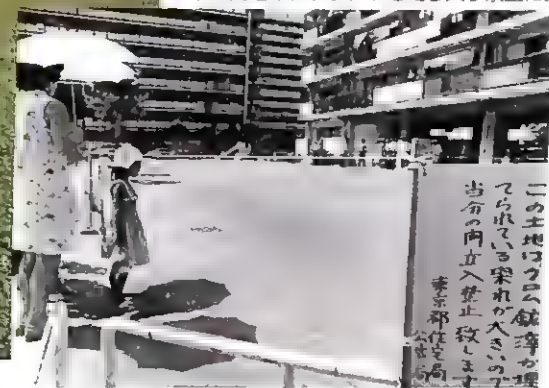
◀「北国街道白雨」(新潟県西蒲原郡巻町稲島) 昭和50年。油彩、50.3×60.8センチ。夏の通り雨に濡れた寂寥とした家並み。この民家も今はもう存在しない。



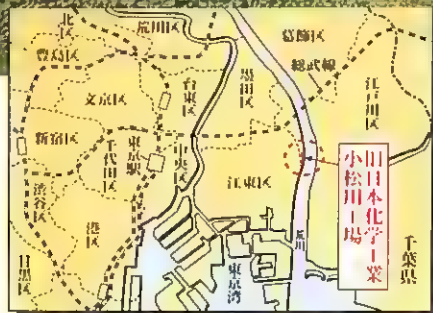
# 小松川

今も鉍滓が掘り出される  
「産廃」六価クロム禍の跡

▼昭和50年8月、六価クロム汚染で都営平井団地のグラウンドも立ち入り禁止に。



▲旧日本化学工業小松川工場跡地にできた「風の広場」。



昭和五〇年七月、六日、東京都が日化工（日本化学工業）から買収した江戸川区堀江地区（現・南葛西）などから、六価クロムが検出、汚染の事実が判明した。六価クロムは皮膚・粘膜に炎症、潰瘍を発生させ、呼吸器や消化器の癌を誘発する有害物質。日化工ではクロム鉱石から重クロム酸ソーダを製造、残りかすである鉍滓を上中に投棄していた。その鉍滓が地中の水分と化合して六価クロムを発生させていたのである。

日化工は昭和・四年頃からクロム鉍滓を投棄。その総量は約五七万トンにのぼり、そのうち確認できたのは三三万トン、都内や千葉など、七カ所であった。

都は翌月、一日、汚染土壌の無害化対策費用を日化工に請求するが、日化工側は「鉍滓は人体無害」と主張、応じないため、二月、東京地裁に損害賠償請求で提訴する。一方、日化工の元従業員側は「日本化学の六価クロム禍被害者の会」を結成、まず肺がんなどで亡くなった五人の遺族が東京地裁に提訴。同会とほかに日本消費者連盟など、四団体が都にクロム公害による被害対策を要請、美濃部亮吉都知事はこれを受け、「住民参加による日本化学工業クロム公害対策会議」を発足させた。

産業廃棄物汚染という新種の公害に対して、行政と住民が共闘態勢をとったのはわが国初の試みであった。日化工は五四年三月、都と協定、鉍滓と

その汚染土の恒久処理を約束、続いて五六年九月、八日、クロム訴訟に原告勝訴の判決。地裁は日化工に約一〇億五〇〇〇万円の損害賠償を命じ、被告は控訴せず確定した。

## 今も掘り出される鉍滓

鉍滓の投棄地だった「堀江団地」へ行ってみた。ある主婦は、六価クロムと聞いただけで肩をひそめた。処理したので影響ない、と言うけど心配です。うちの子は喘息で、クロムではなく排気ガスのせいとの診断ですけれど。

都環境保全局水質保全部計画調整課十壤汚染対策係に問い合わせてみた。

「六価クロム汚染地域の水質と大気中の粉塵に関しては『対策会議』が中心となつて、昭和五二年以降、継続して調査しています。水質は三カ月おき、粉塵は毎月調べていますが、六価クロムは検出されていません。健康被害調査も定期的に実施していますが、住民の被害例は今のところ報告されていません」

無害化処理したクロム鉍滓は、江戸川区小松川にある公園「風の広場」に埋めると聞き、訪ねてみた。広場は高さ一〇メートルの台地をなし、ジョギングコースが設置してあり、使用ルールを示す看板があった。が、この台地ができた由来についてはどこにも説明がなかった。

その北約一〇〇メートルの地点には、金網のフェンスで囲った鉍滓処理地がある。今も処理鉍滓が運ばれているのだ。そこも説明書きはなし。民家の下に埋まった未処理鉍滓は、数字はさだかではないが数万トンはあるという。

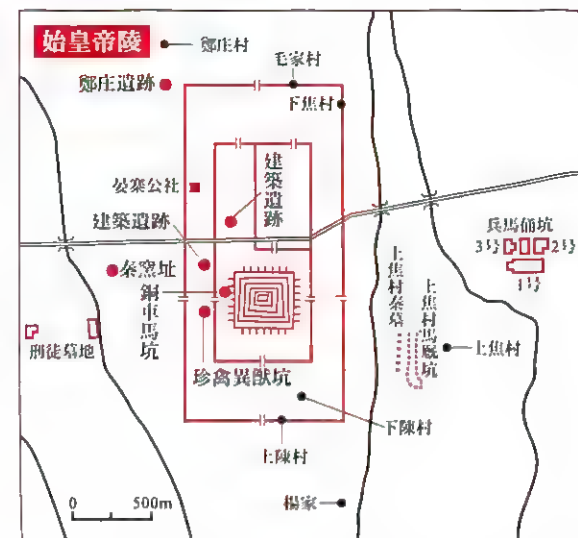


▲兵馬俑の発掘作業。下は身長180センチ、ほぼ等身大の像は、作られた当時は鮮やかな彩色がほどこされていたという。

# 三三〇〇年の眠りからさめた秦・始皇帝の「地下軍団」甦る古代史ロマン「兵馬俑坑」発見！

一九七五年七月二〇日、中国国営の新華社通信が「秦・始皇帝の兵馬俑坑発見」のニュースを打電した。古代中国文明のこの途方もなく壮大な遺跡は、一体何のために作られたのか。発見から三年たった今も、その地下帝国の全容は解明されていない。





▶兵馬俑坑1号坑全景。東西230メートル、南北62メートルの空間が11列の細長いトンネルによって仕切られている。



る「騎兵鞍馬俑」などが確認された。「最初に発見された」「号坑」が主力の歩兵部隊、「号坑」は強者ぞろいの精鋭部隊、「号坑」が大將軍が腰をすえる總司令部と二つの坑には役割が決まっており、この地下軍団が二、〇〇年前に始皇帝が率いた軍の編成や兵術を再現しているのは明らかです。同時に世界中の学者を驚かせたのはその写実性です。今までに発見された七〇〇〇体近い兵馬俑はひとつとして同じ容貌、表情のものが無い。絶大な権力者の始皇帝だからこそ、類のない造形術を作り出せたのです。

## 不老不死を信じた始皇帝の「地下帝国」

と解説するのは、発掘現場を何度も訪れている京都造形芸術大学の田辺昭二教授だ。兵馬俑は、服の柄からひげや結髪、靴の裏まで忠実に再現され、それぞれの出身地や民族がわかるほど精巧に作られていた。言い換えれば、「兵馬俑坑は実在した秦軍団をまねるモデルにした可能性が高い」（田辺教授）のである。

この兵馬俑坑を作った始皇帝（紀元前二五九～前二一〇）は、紀元前二二一年に中国を初めて統一した人物である。孔子の活躍した春秋時代に続く戦国時代、強国がしのぎを削った戦乱の世を、九歳で制圧し、中央集権制を敷いて専制国家を創りあげた。法律や度量衡の統一、諸侯が独自に築いた障壁をつないで完成した万里の長城など、その後二〇〇年にわたって歴代王朝に受け継がれる体制を数多く手がけたが、一方で、知識人を生き埋めにし、書物を焼き捨てた「焚書坑儒」によって「愚者」として引き合いに出されることも多い。



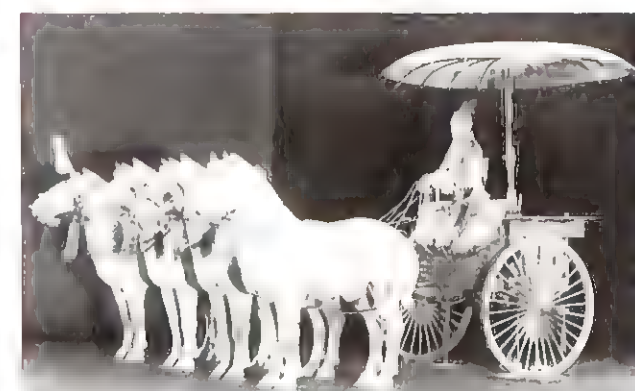
▶「号坑」から出土した陶射俑。片腕をついた姿勢には、韋服の底の模様まで克明に彫られている。

「史記」に記された、台風に行く手をはばまれ樹木すべてを伐って禿山にした逸話や、巨大な陵墓「始皇帝陵」、中国最大の木造建築になっていたはずの宮殿「阿房宮」をはじめとする大土木仕事を好んだことから、その権勢を自然界にまでおよぼそうとしていたことがうかがえる。「兵馬俑坑は、死後の世界も征服したい始皇帝を護衛し続けるために作られたから、生前の陣立てそのままに、陵墓を守るように配置されたのです。人間を等身大の土人形にしたのは、彼らしい合理主義の現れです。「永遠の帝国」で兵士に死なれては困りますから」（田辺教授）

俑坑や始皇帝陵の周辺では、始皇帝専用の動物園や厩舎を再現した「珍禽異獸坑」「馬廐坑」も発見されている。こうした地下帝国の中で現在、最大のミステリーは、

「史記」に記された、台風に行く手をはばまれ樹木すべてを伐って禿山にした逸話や、巨大な陵墓「始皇帝陵」、中国最大の木造建築になっていたはずの宮殿「阿房宮」をはじめとする大土木仕事を好んだことから、その権勢を自然界にまでおよぼそうとしていたことがうかがえる。「兵馬俑坑は、死後の世界も征服したい始皇帝を護衛し続けるために作られたから、生前の陣立てそのままに、陵墓を守るように配置されたのです。人間を等身大の土人形にしたのは、彼らしい合理主義の現れです。「永遠の帝国」で兵士に死なれては困りますから」（田辺教授）

七〇〇〇体の兵馬はすべてが実在した!?  
中国の古都・西安から五、六キロと東にある臨潼県西楊村で、農民の楊培珍（六）がとうもろこし畑に灌漑用の井戸を掘っていた時のことだった。四、五メートル進んだ隙間で「カチリ」と音がして突然、頭のない人形が姿を現した。  
新華社通信の打電から約一年前の一九七四年三月九日、世界中の考古学者をあっと言わせる始皇帝の兵馬俑坑が発見された瞬間である。見つけた農民はもちろん、報告を受けた人民公社や共産党の幹部にも等身大の人形の正体がわからず、のどかな農村はてんやわんやの大騒ぎになった。駆けつけた考古学者によってさっそく調査が開始されたが、出てくる、出てくる。地下四・五メートルから六・五メートルの地中からは、等身大で、驚くほど迫真的な陶製の兵士や馬が次々と発見された。近くに秦の始皇帝の陵墓があることから陵の陪葬坑とわかったが、研究者のど肝を抜いたのはその規模である。東西一・〇キロ、南北六・二キロの長方形の地下空間に埋まっている兵馬俑（等身大の兵士や馬の像）は約六〇〇〇体で、戦車や青銅の武器はすべて本物。陣形は先頭に弓や弩（古代中国最強の引き金つき弓）を手にした先鋒隊の二、〇四体を筆頭に、後方の左右には外側を向いた射手、中央には一列の歩兵部隊、戦車を引く四頭の馬や「軍吏俑」と呼ばれる指揮官、御者もいる。さらに、一九七六年には近くで兵馬俑坑二つが発見され、「号坑」「号坑」と名づけられた。一つの坑からも跪いた射撃兵の「跪射俑」、騎兵が馬の手綱をと



▲1980年、始皇帝陵の中心部近くの地下から発見された銅車馬。車物の2分の1のサイズで、青銅と黄金を精巧に組み合わせている。













▲「リブ号」、沖縄に到着(11月18日)海洋博協会主催のヨットレースに参加した小林則子は、サンフランシスコから沖縄をめざし女性として単独世界最長航海と、初の太平洋横断を達成した。

▲大阪空港公害訴訟、住民側勝訴(11月27日)川西・豊中市の住民が国を相手に争っていたもの。大阪高裁が下した判決によって、午後9時以降の飛行が禁止され、新幹線騒音などの公害訴訟にも影響を与えた。

▼太秦の映画村オープン(11月1日)京都市右京区太秦の東映撮影所内に作られたもので、映画の歴史・資料の展示室、時代劇のオープンセットがあり、開場1ヵ月で30万人が入場した。



毎日新聞社

▲フランスで第1回サミット開催(11月15日)パリ近郊のランブイエ城に日・米・英など6カ国の首脳が集まり、最終日の17日、景気、通貨など15項目のランブイエ宣言を採択した。

▼昭和生まれで初の、文化勲章(11月3日)米ハーバード大教授で、数学者の広中平祐は、山口県で郷里の人々と受章の喜びを分かち合った。



▲スペインで王政復古、フアン・カルロス即位(11月22日)36年間総統の地位にあったフランコ死去の2日後、国王に即位したものの、首相にアドルフォ・スアレスを指名し、徐々に民主化体制に向かった。



共同通信社



▲さよならSL(12月14日)「SLの貴婦人」と呼ばれたC57形が旅客列車を引いて、室岡本線の室岡一岩見沢間を走った。沿線には、カメラを手にした2万5000人のファンが並び、最後のSLに別れをおしんだ。



読売新聞社

▲スト権専選スト渦中(12月1日)公労協のストのため、11月26日から8日間、国鉄がストストップ。写真は地下鉄東西線西船橋駅に押し寄せる人波。

▶3億円事件時効成立(12月10日)事件から7年がすぎ、午前零時に刑事の時効となり、東京・府中警察署で記者会見が行われた。捜査員は延べ10万人。



日刊スポーツ

▶ヤンマーの釜本、5年連続得点王(12月14日)第11回日本サッカーリーグが終了し、ヤンマーディーゼルが2年連続優勝。釜本は最終戦で17得点。

▲超高層ビルにサンタクロース(12月24日)東京の新宿三井ビルの外壁に、ブラインドの開閉と室内の明かりで描いたもの。サンタの身長は113メートル。



共同通信社

- 昭和50年11月
- 1 ●東映京都撮影所に太秦映画村がオープン。
  - 2 ●戸塚宏、太平洋単独横断、トリエールで優勝。
  - 3 ●「リブ号」の女性初のヨットでの太平洋横断。
  - 4 ●国連、対南ア石油禁輸決議。日本の貿易非難。
  - 5 ●都内の交通死にゼロの日、この年一回四日。
  - 6 ●米・ソ、冷戦下で「帰国要求」をゼロ、一国民・五千人が帰国、サハリン、開始。
  - 7 ●現金自動支払機が提議銀行間でも使用可能に。ミナトナオ島沖でイスラムゲリラが漁船を襲い日本人船員六人拉致(12月6日解放)。
  - 8 ●東京八大学出身プロが発足(50周年記念試合)。
  - 9 ●沖縄で非行注意された中学生が職員室を爆破。
  - 10 ●米・ソ、グリーンジャーナル高裁、植物状態のカーン・クランに安楽死を求める両報の訴え却下。
  - 11 ●日本自動車ユーザー・ユニオン、独自に調査した欠陥車リストを運輸省に提出。
  - 12 ●東京湾で旧日本軍の毒ガス弾掃海作業を開始。
  - 13 ●内閣府、貴族院大合議、宗議院が大谷光朝、管長の役員人事権を奪う条例改正可決。
  - 14 ●江古川でシアン機工、金町浄水場が取水停止。
  - 15 ●金・中、高生の求人比四割減と労働省調査。
  - 16 ●仏のワフイエで準、回先進国首脳会議、サント・ドニ。
  - 17 ●日本テレビ、自治体広報番組に手話通訳採用。
  - 18 ●国際環境保全科学会議開催。一カ国参加。
  - 19 ●小林則子、女性初のヨットでの太平洋横断。
  - 20 ●大学、短大生が二〇〇万人突破と文部省発表。
  - 21 ●前年の労働生産性が五割の大増と労働省発表。
  - 22 ●障害者の生活と権利を守る全国協議会開催。
  - 23 ●日本ハムの張本勲、巨人へトレードと発表。
  - 24 ●水・公労協、スト権専選ストに突入。国鉄は九一時間全面ストップ(12月3日終息)。
  - 25 ●金・完全失業者一〇二万人で、一〇年ぶりの高水準。
  - 26 ●上・スピバーク監督、ジョーズ、封切。
  - 27 ●日・財政難で七六割の町村が議員報酬削減と判明。
  - 28 ●月・二億円着服の八尾市農協元支店長ら逮捕。
  - 29 ●火・都立府立、企業買収、企業買収、地名。
  - 30 ●文部省、学校給食に米食を段階的導入と決定。
  - 31 ●水・少年度予算を減、山崎信彦、力。



# 懺悔 懺悔 懺悔

## 流行歌

### 「激」時代を切り開いた

10月27日、講談社から「日刊ゲンダイ」創刊。タブロイド判でニュースの雑誌的掘り下げをめざした。

「激写」。小学館の雑誌「GORO」四月号に「激写・山口百恵」というグラビアが掲載された。撮影は篠山紀信。「激写」という言葉も彼の造語である。これが流行、以来、「激唱」「激セ」プロ野球「激愛」など、何でも「激」の時代が到来。「激辛」「激安」などは普通の言葉として定着した。「アンタ、あの娘の何なのさ」。この年、ダウンタウン・ブギウギ・バンドの歌う「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」（作詞・阿木燿子）が大ヒットした。「アンタ……」はその歌詞の、節で、不良っぽい感じと洒落た雰囲気から若者に流行された。

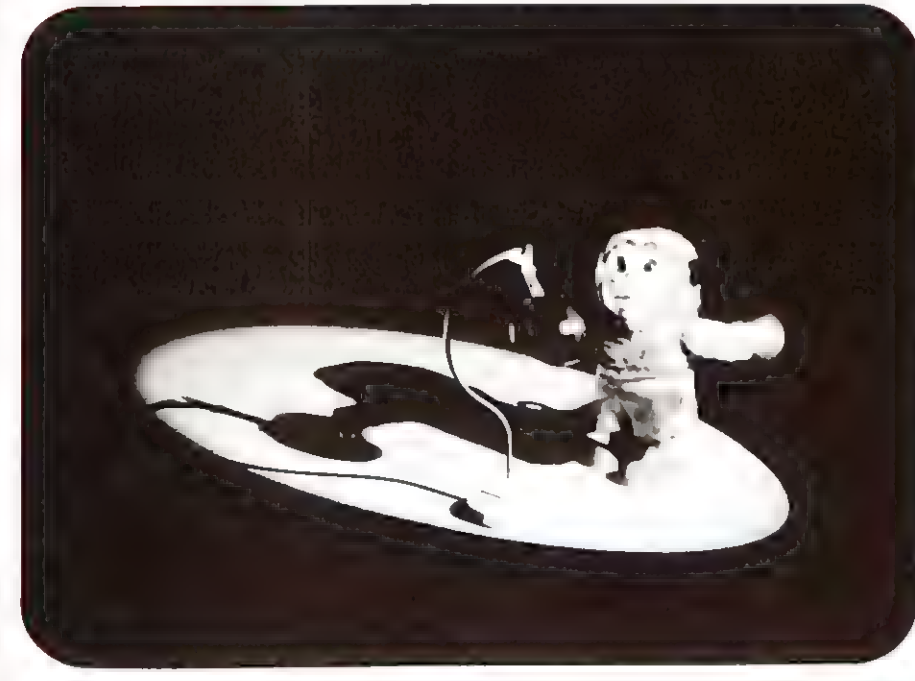
「まけそー」。まいった、すこいといった意味の言葉で、OLなどが図々しい同僚などに対する皮肉として使ったものが、社会現象にまで転用されるようになった。

きょう創刊  
共産党、中国と和解へ



## CM100年

▼CMの最後に白眼をむいてしまう猿が、生命保険の広告では珍しく死を表現しているということで話題になった。



テレビCM「アトムアチャピン」明治生命

## 子ども

昔魚釣り、今、テレビ  
子どもの遊びの変化

横浜の「環境デザイン研究所」が市内の子どもの対象に、五年間この年の遊びの変化を調査した。まず昭和と五年のベストファインは、1魚釣り・サリガニとり、2野球、3ペーゴマ・コマ、1本の実・草花採集、5カン蹴り。そして昭和と五年は男の子が1ラジオ・テレビ、2野球、3ボール遊び、4自転車、5昆虫採集の順。一方、女の子は1ラジオ・テレビ、2ブランコ、3水泳、1ボール遊び、2鉄棒という順。なお男女とも「鬼ごっこ」が二位に入り、遊びの世界にも、ちらりとレトロブームが顔をのぞかせた。

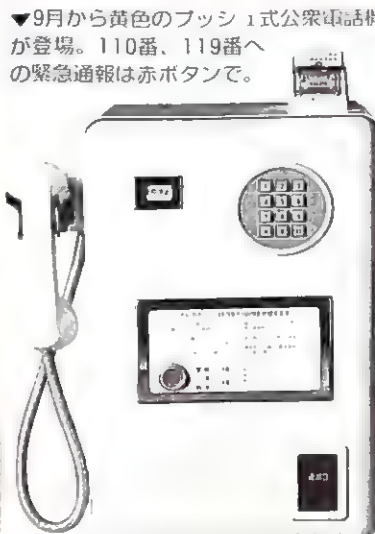
## 文化

### 幻の無声映画「母」発見!

高峰秀子のデビュー作で、幻の無声映画と言われていた「母」(昭和四年)が金沢で発見された。「母」は昭和初期に一世を風靡した母の映画のはしり。主演の川田芳子の娘役を公算したところ、オーディションを見物していた当時五歳の高峰秀子がスカウトされ、この映画で天才子役と言われた。

## データ

五〇年で二〇診からゼロ  
東京・目黒区の田んぼ



目黒区は昭和とともに急速に農村から住宅地へ変貌した。元年に、〇・八あった田んぼはゼロ。七〇の畑は九・六と五〇年で九九の農地が消えた(目黒区史)

## 裁判

### セックス減退をプリンナーが訴訟

有名俳優のユル・プリンナーが「スヘアリブ」を食べて旋風を巻き起こした「種」にかかり、セックスが減退した」と、ニューヨークのレストランを相手として訴訟を起した。その要求額が、億円セックス何回分のつもりだろうというのが巻の巻。

### この年の初もの 巨大迷路の第一号 静岡県伊東に

●無人スーパードー 東京・国分寺市に「オーケー」開店、世界初のDH制プロ野球の指名打者制のことでバリーが採用  
●東洋医学科 近大医学部が開校、九月から診療開始  
●猫マニア向け本 アメリカでキヤットが、万部のベストセラーに

## はやり歌




▲テレビの幼児番組で子門真人が歌ったが、歌詞がサラリーマンの悲哀とダブって大ヒット。

およげ!たいやきくん  
毎日毎日 僕は鉄板の上で焼かれて 嫌になっちゃうよ  
ある朝僕は 店のおじさんと喧嘩して 海に逃げ込んだのさ  
初めて泳いだ 海の底  
とってもさみしが いいもんだ  
お腹のアンコが 重いけど  
海は広いぜ こころがはずむ  
桃色サンゴが 手をふって

僕の泳ぎを 眺めていたよ  
いちにち泳げば 腹ペコさ  
眼玉もクルクル まわっちゃう  
たまにはエビでも くわなけりや  
塩水ばかりじゃ ふやけてしまふ  
岩場のかげから くいつけば  
それは小さな 釣針だった  
シクラメンのかほり  
真綿色したシクラメンほど  
清しいものはない  
出逢いの時の君のようです  
ためらいがちにかけた言葉に  
驚いたようにふりむく君に

布施明  
シクラメンのかほり  
▲布施明が歌って第17回レコード大賞を受賞。テレビに出ない、時々の評価も高まった。  
ASB-AV, L. 37997, 7796, 7015



金庫破りの  
恨みの置き手紙  
〔長崎発〕長崎県佐世保市の生命保険会社に金庫破りが侵入、備えてある大型金庫を電気ドリルや鉄切りノコでしっちゃんめつちやかに壊し、中に入れてあった金、万圓ナリを奪ってドロした。ただし壊すまでがよほど難工事だったらしく、金庫の側面に恨みの一筆  
「金庫を破られない法 夜間は現金を中に入らず、金庫の上に裸で最低五、万圓置いておくこと」  
〔週刊文春 二月六日号〕



▲「嗚呼!! 花の応援団」の連載が漫画アクションで始まり、暴力をギャグにして人を笑わせた



# 「この町はホー・チ・ミンの町になった」 サイゴン陥落！ 三〇年におよぶベトナム戦争が終結



なパレードの雰囲気。右手の建物はコンチネンタル・パレス・ホテル。 朝日新聞

一九七五年四月三〇日、南ベトナム解放民族戦線と北ベトナム軍が首都サイゴンに無血入城。旧宗主国フランスとの植民地解放闘争から三〇年、北爆によるアメリカの本格的武力介入から一〇年。ベトナム戦争はようやく終結し、ベトナムは民族独立の悲願を達成した。

## 解放されたサイゴン ホー・チ・ミンの町に

「解放軍の戦車が市内に入ったという知らせを聞き、私は支局を飛び出し大統領官邸に向かいました。最初、街は大変見ることができないほど森閑として不気味さが漂っていましたが、戦車が通りすぎると、商店のシャッターは、一斉に開き、中からは民衆が飛び出し、戦車の後を追いついていくのが見えました。」  
こう語るのは当時「朝日新聞」特派員（現・熊本朝日放送社長）の山本博昭氏である。

「政府軍将兵はただちに戦闘を中止せよ我々は国民の流血を避けるために臨時革命政府と会うのを待っている」  
一九七五年四月三〇日サイゴン陥落のその日、南ベトナム政府のズオン・パン・ミン大統領（五九）は午前〇時五分（日本時間一時五分）、国営放送を通じて解放勢力への無条件降伏声明を読み上げた。

その約二時間後の正午、解放軍はソ連製T54型戦車（車体番号879）を先頭に大統領官邸に突入、またたく間に官邸を占拠し、屋上のベトナム共和国国旗は臨時革命政府の青と赤地に金色の星を配した二色金星旗にとって代わられた。

ベトナム、解放戦線によるパリ和平協定が調印されたのは、二年前の一九七三年一月二七日のことであった。二月にはアメリカ軍最後の戦闘部隊である第一戦闘航空団が解散式を行い、いっさいの戦闘行動に終止符が打たれたのはその年の三月。ニクソン米大統領は「米国にとってベトナム戦争は終結した」と宣言した。  
しかしアメリカの「名譽ある撤退」後も解放勢力と南ベトナム政府軍は、双方で「停戦協定違反」と非難を繰り返した。七五年に入ると、解放軍は軍事的攻勢を強め、中部高原や北部で大攻勢に打って出る。しかもアメリカはすでに介入の意図も力も持っていなかったため、首都サイゴンをめざす南下の速度は速まった。



▲4月30日午後1時30分、サイゴンのトゥ・ドゥー通りを進む解放軍の機甲部隊。下院議事堂前では、市民たちも手を振り、なごやかなパレードの雰囲気。 朝日新聞

そしてその後、解放勢力側はラジオを通じて「サイゴンは完全に解放された。この町はホー・チ・ミンの町となった」と高らかにうたい上げ、ベトナム戦争の完全な終結を宣言した。

その間、戦車やトラックに乗った解放軍兵士が官邸付近に続々と到着すると、隠されていた大小の二色金星旗が市内の各所にひるがえり、官邸前に押しかけた人々から拍手と歓声が沸き上がった。

街角では市民と解放軍兵士の交歓風景もあちこちで見られるようになり、殺気だった空気がゆつくりと冷めていった。官邸内にはズオン・パン・ミン大統領と閣僚がとどまっていたが、乗りこんできた解放軍側の指揮官と言葉を交わした後、静かに官邸を去っていった。

サイゴン市内には、カーキ色の軍服に

サンダルばきの解放軍兵士が旧政府軍掃討のために配置されたが、市民に対する目立った規制はなく、市民の一部が散乱した政府軍の武器を自主的に回収する姿が見られたほどである。

## アメリカ軍の撤退 三〇年の死闘に幕

本格的な和平に向け、アメリカ、南北



▲陣中前夜の脱出機に乗りこもうとするベトナム人、なごりつける米兵。四月一日、ニャチャンで。



# インドネシア外相が示した 台湾人元日本兵への「道義」

— 佐伯修

一九七〇年代の前半には、太平洋の島々  
に、大戦中からずっと潜伏していた日本兵  
の帰還が相次いだ。この前年末の昭和四  
十九年二月二十五日には、インドネシア領の  
モロタイ島で、日本の植民地だった台湾出  
身の中村輝夫一等兵が「発見」された。

この中村元一等兵に対する日本政府の扱  
いに関して、インドネシア外相のアダム・  
マリクは、地元紙「コンパス」に異例のコ  
メントを発表。その要旨は、昭和五〇年の  
元旦付の日本の新聞でも報じられた。

「一、日本政府は中村さんを十分支援すべ  
きである。彼は台湾出身者という理由で元  
日本兵としての適切な権利を受けられない  
可能性がある。どうして日本はたった一人  
の人間を支援することができないのか。

一、中村さんが「二級国民」として扱わ  
れることなく、あらゆる権利を受けるため、  
まず最初に東京に帰還できれば好ましい。  
その後どこで余生をすごそうと、それは彼  
次第である」(読売新聞「一月一日」)



▲スカルノ、スハルト両政権で閣僚を歴任。

中村元一等兵は、本人の希望により、一  
月八日、台湾に直接帰還した。右のマリク  
の「東京に帰還」というくだりの真意は、  
あくまで、日本政府に、中村元一等兵を、  
ほかの日本人帰還兵と平等に、自国の旧軍  
兵士として扱うよう求めたものである。実  
は、日本政府は、中村元一等兵の意向を訊  
く前から、彼の身柄引き取りを渋っていた。  
そして、日本政府の中村元一等兵に対す  
る扱いは、前年の二月に「発見」された  
小野田寛郎元少尉らへの扱いに比べ、格段  
に簡単なものとなった。そこには、旧植民  
地出身の軍人・軍属への待遇、補償とい  
う「難問」を極力かわそうという意図と、中  
村元一等兵が、国交を断絶した国民党政権  
の台湾出身者だったため、中華人民共和  
政府への気がねの双方が感じられる。後  
者の理由から、日本のマスコミの反応も、  
比較的あっさりしたものだった。

中村輝夫こと、かつて「高砂族」と呼ば  
れた台湾山地人のひとつ、アミ族のアスン・  
バラリン、中国名・李光輝は、この四年半  
後、故郷の東花郷でひっそりと世を去った。  
日本からの見舞い金は、民間からのものを  
含め、約六〇〇万円であり、横井庄一元軍  
曹に対する見舞い金の約四分の一である。  
そんな彼の処遇についてのマリクの発言  
は、為政者の言だが、政策的な意図はなく、  
道義上の意見だったと見ていいだろう。

三月二十九日には南ベトナム最大の軍事  
都市ダナンが陥落、その後、解放軍はク  
イニン、カムランを進み、政府軍の勢  
力がおよぶ範囲は首都から一〇〇キロ圏に  
しぼられていった。  
それに対して南ベトナム政府は最後の  
あがきを見せた。四月十七日、隣国カン  
ボジアの首都プノンペンが解放勢力の手  
に落ちると、アメリカに見捨てられたケ  
ン・バン・チュウ大統領は二二日に辞  
任、「国民的英雄」ズオン・バン・ミン  
將軍が二八日に新大統領に就任した。し  
かし、解放軍は、二九日午後八時サイゴ  
ン郊外のタンソンニユット空港を砲撃・  
制圧し、翌三〇日のサイゴン市内への突  
入態勢を完了。南ベトナム政府要人や閉  
鎖されたアメリカ大使館の職員らがヘリ  
コプターやバスで先を争い脱出をはかる  
など、市内はまさに断末魔の様相を呈し  
たのである。

官が回顧録で述べたように、「最初から  
最後まで間違っていた戦争」であり、ア  
メリカにとっては何も得るところがなか  
っただけでなく、歴史上最初の敗北とい  
う、あまりにも高すぎる代償を支払った  
恥ずべき戦争でした」と語っている。  
一方、一九七六年六月にベトナム社会  
主義共和国が成立し、南ベトナム臨時革  
命政府とその母体である解放戦線は歴史  
的役割を終えた。しかし、その後の急激  
な社会主義経済建設は内外に軋轢を生  
み、ベトナムは真の「統一」に向けて、  
なお苦難の道を歩むことになる。



▲北ベトナム軍兵士に囲まれて官邸を去るベトナム共和国最後の大統領、ズオン・バン・ミン。

## 往きて 還らぬ



▲1月1日 荻野久作(92)  
オギノ式避妊法で知られる産婦人科  
医。助産婦の養成にも尽力し、昭和30  
年、世界不妊学会の名譽会長に。



▲3月6日 石坂三三(88)  
実業家。東芝、アラビア石油会長など  
を歴任。昭和31年から12年間経団連  
会長をつとめ、「財界総理」と言われた。



▲3月15日 A・S・オナシス(69)  
ギリシャの「海運王」。第2次大戦後、  
タンカー建造などで財を築いた。1968  
年、ケネディ米大統領と亡人と再婚。



▲4月12日 ジョセフィン・ペカー(68)  
パリのミュージックホールで活躍した  
歌手・ダンサー。戦後は人種差別撤廃  
運動、孤児救済活動でも知られる。



▲5月6日 黒堀重基(83)  
元東大教授。法医学者で、犯罪医学、  
特に血液型研究の権威。帝銀事件では  
毒物を鑑定。昭和31年文化勲章受章。

▲8月9日 D・ショスタコーヴィチ(68)  
ソ連の作曲家で、ピアニスト。第2次大  
戦後は平和運動に尽力し、1953年世  
界平和賞を受賞。代表作「森の歌」など。



▲9月13日 榎方志功(72)  
版画家。昭和十三年新文展で「善知鳥」が特選。戦  
後、国際的にも認められた。四十五年文化勲章受章。



▲10月22日 A・J・トインビー(86)  
イギリスの歴史学者。古代文明を研究  
し、『歴史の研究』全12巻(1934~61年)  
は世界的名著と言われる。3度来日。



▲12月3日 鹿島守之助(79)  
元鹿島建設社長。昭和13年社長に就任、  
28年に政界入り。34年「日英外交史」  
などで学士院賞受賞。ほか著書多数。



▲12月6日 正木ひろし(79)  
弁護士。昭和19年「首なし事件」で警察  
官を告発、戦後は「菅生事件」「八海事  
件」などを弁護。著書に「裁判官」。



▲12月19日 木谷実(66)  
囲碁棋士九段。小学生で入門、四段の  
時10人抜きをして「怪童丸」と言わ  
れた。木谷道場でも多くの棋士を養成。





●特集

過激にデビュウ、衝撃的に引退！「ピンク・レディ」と「キャンディーズ」

七五八号は右翼席に突き刺さった「玉貞治」「本定」が「世界新！」「解体」され、伊藤忠に吸収された名門「安宅マシナリー」の運命「犠牲者三〇万人！ウガンダの恐怖」「アミン大統領の素顔」

●ニュース・ファイル

フォト十日録で再現する35日：田中角栄前首相、初公判（1月27日）／空港公団、成田鉄塔を強制撤去（5月6日）／米、フロンガスの全面禁止を発表（5月11日）／樋口千子、全米女子プロ制覇（6月12日）／有珠山、大噴火（8月7日）／米戦闘機、横浜市の住宅地に墜落（9月27日）／日本赤軍、日航機ハイジャック（9月28日）

●人物クロースアップ

山下泰治 全日本美道に史上最年少優勝

●決定的瞬間

古代足電か？ 『ニュー・ネッシー』騒動

●美の出会い

日劇タシシング・チーム最終公演

●女たちの肖像：森英恵、パリ進出 勝



者敗者。ジャンプの佐野鸛メタル獲得証書、あの日のこと。つげ義春 常盤新平／20世紀博物館：新町町立コート館北海道／「現場を歩く」品川「青酸入り」コーラ事件／外から見たNIPPON：映画監督ヘンバーの日本への旅●タセテラ／A・ヘイリ「ルーツ」ベストと名場面／「天は我らを」「八甲田山」／モノ語り77／フリントゴツ「ふとん乾燥機」

**日録20世紀専用バンダー**  
高級感あふれる特製バンダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を1冊ずつ年代順に「バンダー」にしてそろえれば、「[20世紀]ビジュアル百科」の定番が、10年ごとに3冊ずつの新たなシールも添付。取り出しは超簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永久保存してお楽しみください。バンダーは1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。

■既刊好評発売中



 <p>第31号1974[昭和49年]</p>	 <p>第34号1978[昭和53年]</p>	 <p>第35号1979[昭和54年]</p>	 <p>第36号1991[昭和66年]</p>	 <p>第37号1952[昭和27年]</p>
--	--	--	---	--

▶ 第44号1932[昭和7年]12月22日発売  
『満洲国』建国の五一—五事件：大森嘉ギング事件とスパイM(「ターザン」とワズミスーラン人)

▶ 第45号1933[昭和8年]平成10年の悲劇：特高、小林多喜二を虐殺。日本、ついに国際連盟脱退へ

▶ 第46号1934[昭和9年]1月13日発売  
室戸台風で造成・廣野の廣作作死(昭和「春蜂庵事件」)  
●大日本東京野俣俱樂部設立●中国紅軍、長征開始

▶ 第47号1935[昭和10年]1月20日発売  
大教に大弾圧●第四艦隊事件●作られた美談「忠犬ハチ公」●スイング楽団とベニー・グッドマン

▶ 第48号1936[昭和11年]1月27日発売  
日本を震撼させた二・二六事件●ベルリン五輪の「明暗」●西安事件●エドワード8世「王冠をすたすた」

▶ 第49号1937[昭和12年]2月3日発売  
盧溝橋事件勃発、日中全面戦争へ●戦艦「大和」起工●南京虐殺事件●女性飛行家ヤハバトの謎の失踪

▶ 第38号1953[昭和28年]11月1日発売  
「テレビと力道山」時代●軍事基地・沖縄の苦悩●伊東絹子とハチ頭生ブーム●エロス初登場

▶ 第39号1954[昭和29年]11月18日発売  
ゴジラと「第五福竜丸」事件●「洞爺湖」沈没●自衛隊発足●「ローマの休日」とペーパー人間

▶ 第40号1955[昭和30年]11月29日発売  
「三種の神器」で家電時代到来●「春園」スタート●広がるヒロコン劇●ジェームス・スティーヴン、激突死

▶ 第50号1938[昭和13年]2月10日発売  
町の東京五輪代用品時代始まる●笑いの激問答「わらわし隊」●岡田富吉、杉本良吉、ソ連へ越境

▶ 第51号1939[昭和14年]2月17日発売  
双葉山、89連勝でストップ●モモンバ事件の悲愴●「第21回」の試験飛行●第2次世界大戦勃発

▶ 第52号1940[昭和15年]2月24日発売  
「紀元は二千六百年」●日独伊三国同盟締結●強まる統制「配給」に「回覧板」●海の怪「ウーバ」

▶ 第41号1956[昭和31年]12月28日発売  
「太陽の季節」に芥川賞●憧れの20K「団地族」誕生●週刊誌時代到来●スターリン批判の衝撃

▶ 第42号1957[昭和32年]12月9日発売  
石原裕次郎と日活青春映画●南樺樹刺殺、昭和基地建設●ジラード事件の戦慄●リトルロケット事件

▶ 第43号1931[昭和6年]12月16日発売  
浅草の喜劇王、エノケン●黄金バットへのらくろ●満洲事変と石原莞爾●エンパイアステートビル完成

▶ 第53号1981[昭和56年]3月3日発売  
チャールズ、ダイアナ結婚●中国陝西留置の苦難●「窓ぎわのトットちゃん」刊行●第2次福岡スタート

▶ 第54号1982[昭和57年]3月10日発売  
ホテル・ニュージャパン火災●新日鐵「高炉停止続く」●米日コンヒータ戦争●フォークランド紛争

▶ 第55号1983[昭和58年]3月17日発売  
東京・東大に校内暴力●大韓航空機墜落事件の謎

バンクナンバーは お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円(税別)です。直接弊社にご注文の場合は 冊数に関係なく送料200円のご負担となります。なお 代金と送料は先にお送りください。申込先 読談社読者サービス係 電話03-5395-3676

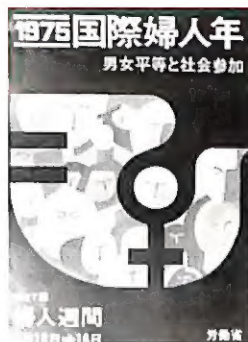
## 三二事典

## 1975年の キーワード

緑の国勢調査

日本全国に自然がどのような形で残されているかを調べる「自然環境保全調査」。昭和四八年五月から一年半、調査を総合的に調査し数量化した。それによって原生林や自然草原は全国で二〇パーセントしかなく、海岸線の四〇パーセントに工事がほとんどこされているなど、無秩序な開発により自然が各地で破壊されていることが明らかになった。

國際婦人年



▲国際婦人年のシンボルマークを使ったポスター。

男女平等を実現し諸分野への女性進出をうながすための「国際婦人年」と、二年前の国連総会で定められたメキシコシティで六月・九日に国際婦人年世界会議が開かれ、今後、○婦人年世界会議が開かれ、今後、○一年間に取り組み、世界行動計画を採択、それに基づき、日本でも総理府が昭和五三年に政府として初めて婦人の現状と施策を総合的にまとめた「婦人白書」を出すなど、官民、体となった女性差別撤廃への動きが

改正政治資金規正法



▲自民党は献金に代わる会費制パーティーで資金調達(3月9日)。

**川崎病**  
 五歳以下の乳幼児に多い原因不明の熱性疾患。高熱が続き、手足の紅斑・浮腫などをともなう。小児急性熱性皮膚結膜リンパ節症候群の異称。昭和四二年に日赤中央病院小児科医の川崎富作が発表したため、この名がついた。この年二月一日、文部・厚生両省は、これまでの患者数約一万人、最近急増と報告した。大部分は自然治癒するが、心臓の冠動脈に異常が残ることがある。

仲間同士や同傾向の集団の間での暴力的な抗争。「ゲバ」はドイツ語の「ゲバリスト」（暴力）の略。日本では特に反日共系二派、中核と革マルの暴力抗争をさす。二派は安保闘争前夜に結成された革共共同から分裂。革マル派は党建設を、中核派は大衆動員を重視したため、学園闘争・政治闘争の局面で対立が激化、この年には三月に中核派書記長が惨殺され、七月一日には新橋駅構内で両派六〇〇名が乱闘するなど、二〇人の死者を出した。

西側経済圏の主要国首脳が世界的諸問題について意見交換する会議。先進国首脳会議。フランスのジスカールデスタン大統領の提唱で実現。一回は一月五日、パリ郊外のランブイエ城で開かれ、米、英、仏、西独、伊、日六カ国首脳が石油危機後の世界経済再建について意見交換した。日本からは三木首相が参加。以降、毎年開催。第二回からカナダ第三回からEC代表部が加わった。

女たちの肖像  
「中だて連」榎美沙子の闘い 稲葉真弓  
勝者、敗者  
沢松和子、ウィンブルドン優勝 阿部珠樹  
証言・あの日のこの日 坪内祐三  
20世紀博物館  
ビール博物館(北海道) 桑原茂夫  
「現場」を歩く  
小松川、六価クロム禍の跡 山本徹美  
外から見たNIIPPON  
台湾人元日本兵への「道義」 佐伯修  
●モノ語り  
使い捨てライターに「チップスター」  
ニッパクリニッパ

**ライフサイクル構想**

三本首相の私的政策研究団体、中央政策研究所（東畑精一理事長）が提言した、低成長下での国民の生きがいを安定した生活確保するための構想。生涯設計計画の基盤として持ち家促進、最小限の社会保障、老後の保障、生涯教育制度の四つを提案した。八月九日の発表後、自民党内に計画調査会が新設されたが、財

する公共企業体労働組合協議会（公  
労協、組合員八六万人）が、ストライ  
キ権保障の明確化などを要求して  
行ったストライキ。この年、一月  
六日から突入、日本全国の交通・通  
信がマヒした。二月一日、三木首相  
が公労法の検討などを内容とする  
声明を発表。三日、公労協はやつと  
スト中止を決め、国鉄が運行を開始  
したのはその翌日、九日ぶりだった。

● 人物クロニクル  
「トップ屋」作家 梶山季之の急死

● 決定的瞬間  
モロツコ民衆三五十万人のサハラ大行進

● 美の出会い  
向井潤吉、失われゆく民家への愛情

ベストセラー  
俄衆多市 36 はやり歌

往きて還らぬ 41 ミニ事典

**乱塾時代**  
 塾の乱立を「爛然」とかけた「毎日新聞」の造語。同紙は九月三〇日から五四回、このタイトルで学習塾の動向を伝える記事を連載。受験教育は年々激しさを増し、進学準備のための塾通いは次第に低年齢化。小学生の六、七歳、中学生の四五、六パーセントが塾通いをする時代になった。進学塾の中には半年間で全

**財政特例法**  
昭和五〇年度公債発行の特例法  
二月四日に成立、五日施行  
法が、景気停滞による税収の大幅減をカバーするため、特例を設け赤字公債発行を可能にした。これにより、兆・九百〇億円の公債を発行、予算の公債依存率は、二・四パーセントにまで達し、深刻な赤字財政となった。

	溝谷社総合編集局 アール・デクレクター	山口全明
	表紙デザイン	出口玄嗣デザイン室・渡道浩一
	本文レイアウト	山田マサユキ・フリス八起三
	編集協力	エーピーシー
	コンパイル	シード・プロ
	グラフィック	在マツコク
	校正	ミナモト
	小原伸夫	結城順夫
	吉田忠正	小松邦宏
		佐野長成
		張岳政展
		鎌倉貴彦

**写真協力**

大江正治	小川卓	鍛冶和良輔	川村実
朝日新聞社	森義秀郎	馬淵文雄	西良和
S&T NEWS	時事通信社	南良一	
K&T NEWS	毎日通信社	海潮現代	
浅井企画	毎日新報社	ユナイテッドプレス	
ポニーキャニオン	近畿同楽会	人味	
事務所	大宅七子	文庫	
		近日出版文化センター	
		通信総合博物館	
		日本	

週刊YEARBOOK 目錄20世紀1975  
CONTENTS

● <b>特集</b>	選手もファンもOBも、誰もが泣いた「赤ヘル軍団」悲願の初優勝！	7
	愛好者三〇〇万人を生んで半年で消えた「紅茶き」のこゝ異常ブームの顛末	6
	秦・始皇帝の「地下軍団」甦る！古代史ロマン「兵马俑坑」発見！	27
	サイゴンついに陥落！三〇年におよぶ「ベトナム戦争」終結	38
● <b>ニッス・ファイル</b>	フォト＋日録で再現する365日	10-30
	女たちの肖像	9
	中比連「複美沙子の闘い」稲葉真弓	9
	勝者敗者 沢松和子、ウィンブルドン優勝 阿部珠樹	9
	証言・あの日のこの日 坪内祐三	15-31
	20世紀博物館 ビール博物館北海道 桑原茂夫	17
	「現場を歩く」小松川六 価値クロム禍の跡 山本徹美	26
	外から見たNIPPON 台湾人元日本兵への道義 佐伯修	40
● <b>モノ語り</b>	使い捨てライターに「チップスター」ピッカリニコニカ	19
● <b>人物クイズアップ</b>	ドブツ屋作家 梶山季之の急死	20
● <b>決定的瞬間</b>	モロッコ民衆三五万人のサハラ大行進	22
● <b>美の出会い</b>	向井潤吉 失われゆく民家への愛惜	24
	ベストセラー	18
	ロシア多市	36
	往きて還らぬ	41
	ミニ事典	42
● <b>編集</b>		
読書社総合編集部	アート・ディレクター 山口幸嗣	
	表紙デザイン 山口幸嗣 デザイン室・渡邊裕	
	本文レイアウト デザインオフィス・八木さく	
	編集協力 ウェビィ・シニア・エス・ヒラギ	
	Han'Woo ケーブル・プロ（有）マキタ	
	小原伸太 鍵持良寛 小松理宏 佐野長成 張氏政展 鹿島智弘	
	結城順 古田忠正	
● <b>写真協力</b>		
大江正治	平泉 鍵持良輔 川廷豪	
朝日新聞	伊藤孝太郎 馬淵直城 南良和	
S.B.T. JAPAN	時事通信社	
新報社	日向スポーツ P.R.S フォトレビ	
毎日新聞	毎日新聞社 ユニソフトプレス	
浅井企画	金澤企画 大映 東京新聞社 W.P.F.	
ポニーニコン	古田記念デニス研修センター ワイ音楽事務所	
大宅文庫	近代映画協会 通信総合博物館	
文学館	向井調子 トリエ館	
	但馬 恵 タイ・カンフー	
	CORREI 中国 双葉社	
	W.A.P. とおくまんぷ	
	日本近代	



KIRIN 新鮮な明日へ

この国には、  
麒麟ラガービールがあります。



# OFFICIAL BEER

ビールは、20歳になってから。

麒麟ホームページアドレス <http://www.kirin.co.jp> 麒麟ビール株式会社

雑誌 23701-10/7  
L-2001/1/1

T1123701100561

©KODANSHA 1997 Printed in Japan  
印刷 凸版印刷株式会社 製本 本村製本株式会社

